

白水公民館屋根改修工事 特記仕様書		2024.04
I 工事概要		項目
1. 工事場所	高知市 介良丙871番地 1	
2. 工事種目	【 公民館 】 木造 平家建て 延べ面積 94.0 m ²	
	1) 屋根及びとい改修 一式 2) 内装改修 一式	
3. 関連工事等	・電気設備工事 ・機械設備工事 ・ガス設備工事 ・昇降機設備工事 ・植栽工事 ・合併処理装置設置工事 ・外構工事	
4. 概成工期	・完成期限の()日 (令和 年 月 日)	
5. 部分使用(工事請負契約書第34条第1項)	令和 年 月 日からは、全ての室内部分を使用する。	
II 建築工事仕様		特記事項
1. 特記仕様	1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の[]内表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の< >内表示番号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。	
2. 適用基準等	図面及び特記事項に記載されていない事項は、全て国土交通省(建設)大臣官房官庁営繕部監修の以下による。 ◎公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ◎公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ◎建築工事標準詳細図 (令和4年版) ・敷地調査共通仕様書 (令和4年版) ・建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版)	
3. 「週休2日制モデル工事」の実施について	◎対象 (・発注者指定型 ○受注者希望型) 本工事は、工事着手日から工事完成日までの間の土曜日及び日曜日を現場の休工日の基本とする「週休2日制モデル工事」の対象工事である。実施にあたっては高知市「週休2日制モデル工事」実行要領(営繕工事編)による。 (https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/syukuhutsuka.html) ・対象外(理由:)	
項目	特記事項	
一般共通事項		
① 工事実績情報サービス(CORINS)への登録(請負金額500万円以上)(受注、変更、完成時)	登録の手続きについては、(一財)日本建設情報総合センターの「建設実績情報のコリンズ」テクリス登録等に関する規約による。 [1.1.4]	
2 総合工程表	原則、工事の着手に先立ち、別契約関連工事の受注者と協議し、受注者及び別契約関連工事の受注者連名による総合工程表を監督職員に提出する。	
3 総合図	工事の施工に先立ち別契約関連工事の受注者と調整のうえ、総合図を作成し、監督職員の承諾を受ける。 [1.2.3]	
④ 工事日誌	週ごとに工事の全般的な経過及び次週の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。 [1.2.4] また、工事の経過が明確にわかる写真を貼付すること。	
⑤ 工事写真	工事写真はL版程度とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し1部提出する。(A4版台紙) [1.2.4] 撮影方法は、「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」による。 デジタル工事写真の小黒板情報電子化の実施をする場合は、監督職員の承諾を受ける。 なお、実施については、国営建設第14号(令和5年3月1日付)「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」による。	
⑥ 下請負者の報告	各下請負者については下請負契約前に監督職員に報告する。	
7 電気保安技術者	適用する。 [1.3.3]	
⑧ 施工条件	施工日及び施工時間 ※1.3.5(1)(7)による。 [1.3.5] ・ 施工順序 ・ 図示 工事用車両の駐車場所及び資機材の置場所 ※ 仮囲内 ○ 図示 その他の施工条件 ◎資機材の搬入時には、専任の誘導員を配置する。その他の場合でも、工事関係車両(乗用車も含む)が敷地内を通行する際には必ず誘導するものをつけ、公道まで係行する。 ・ 登下校時間帯や休み時間等は車両の通行を中止する等必要な配慮をする。	
⑨ 交通誘導警備員	交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法(昭和47年法律第117号)第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の他職種の者を従事させないこととする。ただし、一時的な作業等で、安全確保に対処できると監督職員が認めたものについては、この限りでないものとする。 配置人員等 ・ 令和 年 月 日から令和 年 月 日までの間は 名常駐する。 ・ 作業日は 名常駐する。その他監督職員と協議し、適宜配置する。 ○監督職員と協議し、適宜配置する。	

項目	特記事項
⑩ 工事安全計画書	配置人員の資格 ・ 1名以上/1班は交通誘導警備業務に係る検定合格者(1級又は2級)を配置する工事。 ※交通誘導に関し、1名以上/1班は専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置する工事。 資格要件 1, 2級交通誘導警備員(交通誘導警備員A) 交通誘導警備員に關して、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識及び技能を有すると認められたもの 交通誘導に關し、専門的な知識及び技能を有する警備員等(交通誘導警備員B) 警備業法における指定講習を受講したものの警備業法における基本的基礎教育及び業務別教育(警備業法第2条第1項第2号の警備業務)を現に受けているもので、交通誘導に關する警備業務に従事した期間(実務経験年数)が1年以上であるもの なお、事前に監督職員に検定合格証の写し等の資格要件の確認できる資料を提出する。また、警備員等に変更が生じた場合は、速やかに監督職員に同様の資料を提出する。 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。
⑪ 統括安全衛生管理義務者の指名	労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名をする。
⑫ 発生材の処理	産業廃棄物の運搬、処分等については、1.3.12により適切に処分するものとし、[1.3.12] 事前に監督職員に処理計画書を提出する。 産業廃棄物の運搬、あるいは処分を他業者に委託する場合は、書面による委託契約を行い、処理計画書にその写しを添付する。 自己処分場処分する場合は、その処分場が関係法令の規定に適合する旨の資料を提出し、監督職員の現地立会を受けたうえで承諾を得る。(積替・保管についても同様とする) 産業廃棄物の収集・運搬に当たっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下廃棄物処理法という)施行令に基づく車両への表示及び書面の備え付けを行うこと。 また、産業廃棄物を搬出する車両について、処分場ごとに1台のみ写真撮影(現場搬出時及び処分場到着時)し、随時監督職員に報告する。 廃棄物処理法を遵守し、工期内に最終処分(埋立処分、海洋投入処分又は再生)を終了しなければならない。 また、産業廃棄物管理票(以下マニフェストという)により適正に処理されていることを確認するとともに、監督職員にそのE票の写しを提出する。 ただし、廃棄物処理法を遵守した上で、工期中に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合、監督職員が認める場合においては、工期中に中間処理業者への搬入を終了すればよいものとする。この場合、マニフェストにより適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに、監督職員にそのB2票の写しを提出する。また、最終処分終了後速やかにE票の写しを提出する。 なお、廃棄物処理法に定める電子情報処理組織を使用する場合は別途協議する。 ・ 引渡しを要するもの () ・ 現場再利用を図るもの () ○再資源化を図るもの (※コンクリート ※コンクリート及び鉄から成る建設資材 ※木材 ※アスファルトコンクリート) 特別管理産業廃棄物の施工計画調査 ※行う ・ 行わない 分析調査 ※施工計画調査の結果により、監督職員と協議する。 ・ 行う () ・ 行わない () ・ PCBを含む機器類 ・ 変圧器 ・ コンデンサ ・ 蛍光灯、HID灯具の安定器 ・ その他 () ・ PCB含有シーリング材 ・ 廃油 ・ 廃酸 廃アルカリ ・ 臭化リチウム水溶液 ・ 電池の溶解液 ・ ダイオキシン類
⑬ 再生資源利用(促進)計画書及び実施書の提出(請負金額100万円以上)	再生資源利用(促進)計画書及び実施書を、建設副産物情報交換システム(COBRIS)により作成し、提出は以下による。 a) COBRISについては、建設副産物情報センターのホームページ(http://www.recycle.jacic.or.jp)より、利用申請等を行うことができる。 b) 建設資材の利用量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式1)を、完成資料として監督職員に提出する。 c) 建設副産物の発生量及び搬出量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用促進計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式2)を、完成資料として監督職員に提出する。 d) 受注者は再生資源利用(促進)計画書(現場掲示用様式)を工事現場の見やすい場所に掲げること。 e) 受注者は作成したデータを含め、再生資源利用(促進)計画書及び実施書を工事完成後5年間保存する。
⑭ 工事の保険	工事請負契約後、速やかに工事目的物、工事材料等に生じる損害、第三者に及ぼした損害を補償する保険を締結する。保険期間は、工事着手のときから完成期限より24日後以降までの期間とする。 ※ 金銭的保証方式 ・ 有 ○ 無
⑮ 契約保証	
⑯ 前払金支出割合区分補正	
⑰ 証明書の提出(グリーン購入法)	「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)及び「高知県グリーン購入基本方針及び実施計画」に基づき、重点調達品目については、積極的に利用すること。なお、重点調達品目の中で木材・木材製品等においては、その原料とされる原木が生産された国における森林に関する法律に照らして合法なものを使用する。 木材・木材製品等については、県産木材納入証明書、県外産合法木材納入証明書を監督職員に提出すること。 [1.4.2]
⑱ 石綿含有建材の調査	事前調査の報告 一定規模以上の工事は労働基準監督署と高知市に報告が必要となる [1.5.1] 事前調査範囲 ※ 改修範囲 貸与資料 ※ 有 (○既存の設計図書 ○石綿分析結果報告書 (外壁吹付リシン:含有なし)) ・ 無 分析調査 ※ 書面調査及び現地での目視調査の結果により、監督職員と協議する。 ・ 行う (調査建材使用部位 調査建材名 検体数) 分析方法 ※ 定性分析 定性分析の結果により、定量分析を行う場合は監督職員と協議する。

項目	特記事項
19 施工数量調査	調査範囲 ※ 図示 ・ 改修建築物の外壁、軒天、パラペット [1.6.2] 調査方法 ※ 外部足場を使用した目視及び打診 破損部分の補修方法 ※ 現状に復旧 外壁調査は、外壁改修フローに対する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。 また、その調査の結果を立面図等に記載し集計表を添えて電子データと共に、監督職員に報告する。(必要に応じて写真等を添付する) ※ 適用する (○:一級, ●:二級) [1.7.2][1.7.3]
⑳ 技能士及び技能資格者	工事種別 技能検定の作業の種別 ○仮設工事 ※ ●とび作業(又は足場組立作業主任者) ・ 鉄筋工事 ※ ○鉄筋組立作業 ・ コンクリート工事 ・ ○コンクリート圧送工事作業 ・ ○型枠工事作業 ・ 鉄骨工事 ※ ●とび作業 ・ ブロック・ALCパネル工事 ・ ○コンクリートブロック工事作業 ・ (単一)エネルギーパネル工事作業 ○防水工事 ・ ○アスファルト防水工事作業 ・ ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○合成ゴム系シート防水工事作業 ・ ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ ○セメント系防水工事作業 ○○シーリング防水工事作業 ・ ○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ ○FRP防水工事作業 ・ 石工事 ※ ○石置り作業 ・ タイル工事 ※ ○タイル張り作業 ・ 木工事 ※ ○大工工事作業 ○屋根及びとい工事 ・ ○かわらぶき ・ ●スレート工事作業 ○○内外装板金作業 ・ 金属工事 ・ ○鋼製下地工事作業 ・ (単一)金属製バルコニー工事作業 ・ 左官工事 ※ ○左官作業 ・ 建具工事 ・ ○ビル用サッシ施工作業 ・ ○木製建具製作 ・ ○ガラス工事作業 ・ カーテンウォール工事 ※ ○金属製カーテンウォール工事作業 ・ 塗装工事 ※ ○建築塗装作業 ・ 内装工事 ・ ○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ ○壁装作業 ・ ●カーペット系床仕上げ工事作業 ・ ○畳製作作業 ・ ○ボード仕上げ工事作業 ・ 植栽工事 ※ ○造園工事作業 ・ その他 ・ ○樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) 又は(単一)樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) ・ ○家具手加工作業 適用する技能士について、当該資格を有することが確認できる書類及び資格者が特定できる書類(運転免許証等)の写しを提出する。
㉑ 化学物質の室内濃度の測定	化学物質の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、 [1.7.9] 報告書を監督職員に提出する。 ただし、完成検査前に報告書の提出が困難な場合は、事前に信頼のおける速報等の資料を監督職員に提出する。この場合、後日に正式な報告書を速やかに監督職員に提出しなければならない。 測定する業者の選定にあたっては、あらかじめ監督職員に報告すること。 測定方法 ※ 厚生労働省「室内空気中化学物質の室内濃度指針値及び標準的測定方法について」による。 測定対象化学物質 ※ホルムアルデヒド ※トルエン ※キシレン ※エチルベンゼン ※スチレン ※パラジクロロベンゼン 測定箇所 ()箇所 施工前・施工後(計 回測定) 測定対象室 () なお、測定結果が厚生労働省の定める指針値を超えている場合は、原則として本工事の引き渡しを行わないこととする。ただし、次のいずれかに該当する場合は除く。 1 何らかの対策が施された結果、揮発性有機化合物の濃度が厚生労働省の定める指針値以下となったことが確認された場合。 2 濃度測定の結果が、本工事の施工により生じたものでないことが明確である場合。 3 濃度測定が、使用開始後(備品の搬入等を含む)に行われた場合。 本工事の引き渡し、あるいは、使用開始後に室内の揮発性有機化合物(VOC)の濃度測定が行われ、測定結果が厚生労働省の指針値を超えている場合については、受注者は、工事引き渡し後であっても、その原因究明に当たって協力しなければならない。 また、本工事の施工が原因となって、化学物質の濃度が厚生労働省の定める指針値を超えたものであることが判明した場合は、受注者の負担により、その対策を講じなければならない。 内部養生に合板又は構造用パネルを使用する場合、その合板または構造用パネルのホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆、又はそれと同等と認められる製品を使用する。 ⑳ 建築材料等 本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。(記載順序は不同)また、「評価名簿による」と特記されたものについては、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」によるもの、又は評価の内容についてこれらと同等と認められるものとする。 ただし、同等とする場合は、監督職員の承諾を受ける。 県内産資材の優先使用 本工事に使用する資材は、機能、品質、価格等が同等であれば、県内産資材を優先して使用するものとする。なお、県外産資材を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し、監督職員の確認を受けること。 注1: 県内産資材とは、高知県内で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。 ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は、高知県内で産出されたものとする。 注2: 県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。 ㉒ 特別な材料の工法 公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて当該材料製造所の指定する工法による。 ㉓ 風圧力 本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したものとし、速度圧を求める場合の風速(Vo)及び地表面粗土区分は、次の数値とする。 風速(Vo): ※ 38m/sec ・ 36m/sec 地表面粗土区分: ※ III ・ II ㉔ 仕上面の出隅処理 内外部とも仕上出隅利用者の手の届く範囲は、図示が無くとも原則として全て面取りを施す。 木部(家具を含む) 6mm程度 コンクリート、モルタル部 20mm程度 鉄部、金属部 3mm程度 建具類等、上記により難しい場合は、監督職員と協議する。

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
27 事業損失補償	※現場説明書による。	5 監督職員の備品等	備品等の設置 [2.4.1][2.4.2] 備品の種類 机・椅子 書棚 黒板 PC 掛時計 数量 組 台 枚 台 個 備品の種類 温度計 ゴム長靴 雨がっぱ 保護帽 懐中電灯 数量 個 足 着 個 個 備品の種類 衣類ロッカー 冷暖房機器 消火器 湯沸器 加入電話付風扇 数量 人用 台 個 台 台 備品の種類 掃除具 数量 個	4 改質アスファルトシート防水	絶縁工法のルーフィングの材料 [3.3.2] ・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類及び厚さ ※表3.3.3及び表3.3.4による ・砂付あなきルーフィング 押え金物の材質及び形状 ※図示 ・アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2] 屋内防水 [3.3.3][表3.3.10] 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 保護層 ・P1E ・E-2 ・P2E ※E-2 E-1の場合で工程3を行う場合 ※貯水槽、浴槽等の常時水に接する部分 押え金物の材質及び形状 ※アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2] 平場の保護コンクリート [3.3.5] こて仕上げの場合 ※80mm以上 床タイル張り等仕上げの場合 ※60mm以上 コンクリートの仕上りの平たんさ ※a種 ・b種 ・c種 [3.3.5][表8.1.5] 防水層の種類 [3.4.2][表3.4.1～表3.4.3] 工法 種別 施工箇所 断熱材 仕上塗料 種類 使用量 備考 ・M4AS ・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2 ・M3AS ・AS-T3 ・POAS ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3 ・M3ASI ・ASI-T1 ・M4ASI ・ASI-J1 ・POASI JIS A 9521に基づく 発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材 2種1号又は2号 厚さ: mm ・図示 高日射反射率塗料の適用 ※製造所の指定による 改修用ﾄﾝ 設ける 設けない 防湿層 設ける 設けない 露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・行う ・行わない [3.2.6] 改質アスファルトシートの種類及び厚さ [3.4.2] ※表3.4.1から表3.4.3による 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ [3.4.2] ※表3.4.1から表3.4.3による 押え金物の材質及び形状 ※図示 ・アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.4.2] 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の指定とする [3.4.3] 合成高分子系ルーフィングシート防水 [3.5.2][表3.5.1～表3.5.2] 工法 種別 施工箇所 厚さ(mm) 仕上塗料 種類 使用量 高日射反射率塗料の適用 備考 ・POS ・S-F1 ※1.2 ・S4S ・S-F2 ※2.0 ・S-M1 ※1.5 ・S-M2 ※1.5 ・S3S ・S-F1 ※1.2 ・S-F2 ※2.0 ・1.5 ・M4S ・S-M1 ※1.5 ・S-M2 ※1.5 ・POS1 ・SI-F1 ※1.2 ・S3S1 ・SI-F2 ※2.0 ・S4S1 ・1.5 ・M4S1 ・SI-M1 ※1.5 ・SI-M2 ※1.5 ・P1S ・S-C1 ※1.0 立上り保護モルタルの塗厚 ・図示 ・7mm 断熱工法に用いる断熱材 (SI-F1, SI-F2, SI-M1, SI-M2の場合) [3.5.2] 工法 材料 厚さ 機械的固定工法 JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・図示 接着工法 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・図示 S-M2及びSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ 工法: ※図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械固定工法(厚さ mm) 立上り部等の防水層撤去 ・行う ・行わない [表3.1.1] 立上り部等の保護層撤去 ・行う ・行わない POS工法及びPOS1工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)(g)による [3.5.2] 固定金具の材質及び形状 材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ(mm) ※0.4以上 S-M1及びSI-M2の絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質 [3.5.2] ※発泡ポリエチレンシート 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の仕様による [3.5.3] SI-M1及びSI-M2の防護用フィルムの設置 ※設けない 設ける [表3.5.2] プレキャストコンクリート下地の目地処理(接着工法の場合) ・行う(・図示) ・行わない [3.5.4] S-F1及びSI-F1のプレキャストコンクリート下地の入隅部増張り ・行う(・図示) ・行わない [3.5.4] 一般部のルーフィングシートの張付けで機械的固定工法の場合 建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
28 完成時の提出図書	完成図(作成範囲・配置図・平面図・立面図・断面図) (仕上表) [1.9.1][1.9.2] ・完成図(CADデータの提出 ※する(CD-R等)・しない) [1.9.3] ・保全に関する資料(提出部数 ※2部 ・部) 上記のほか、使用材料のメーカー名、品番、色(マンセル値等)をCADデータ等で監督職員に提出する。 また、工種別下請負者の一覧表を提出する。 ○施工図、施工計画書 [1.9.2] 提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。	6 工事用水・電力	構内既存の施設(用水) ○利用できる (※有償 ○無償) ※利用できない 構内既存の施設(電力) ○利用できる (※有償 ○無償) ※利用できない 構内既存の施設を利用できる場合で、無償の場合は、下記a)～c)による。 a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。 b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。 c) 工事用電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態等を確認し、既設負荷への波及がないようにする。 また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。 構内既存の施設を利用できる場合で、有償の場合は、上記a)～c)に下記d)～e)を加える。 d) 工事用水は、既存設備に量水器を設けて、仮設配管を施し使用するものとする。 e) 工事用電力は、原則、既存設備に電力計を設けて、仮設配電盤を設置し、使用するものとする。 四国電力送配電網などの架空線に防護管の設置が必要な場合は、監督職員と協議する。 ※図示 ※原形の復旧 ・良土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ() [2.5.1]	7 仮囲い	
29 完成写真	下表のものを監督職員に提出する。 位置 分類・規格 撮影枚数 部数 原図の大きさ(mm) ・各室 手札版(L版) ※2枚・枚 ※1部・部 ・100×125以上 ・外部 キヤピネ版 ※4枚・枚 ※1部・部 ・24×36以上 ・外部 半切パネル(木製枠※アルミ枠 ※1枚・枚 ※1部・部 ・ スライド ※1部・部 カラー・電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。 撮影箇所は監督職員と協議する。 上表のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等にて提出する。 画像形式等 フォーマット: JPEG 画質: 標準 画像サイズ: 1024×768ピクセル程度	7 仮囲い		8 仮設物撤去後の整地・跡片付け	
30 別途設備工事との取合い	施工範囲 ・貫通孔、開口部の補強 ※下表 ・図示 ・壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※下表 ・図示 ・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 補強種別 内容 梁 壁 スラブ 壁切込み及び補強 天井切込み及び補強	7 仮囲い		8 仮設物撤去後の整地・跡片付け	
31 撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。	8 仮設物撤去後の整地・跡片付け		8 仮設物撤去後の整地・跡片付け	
32 不当要求等への対応	暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害(以下この文において「不当介入」という。)の排除については次による。 a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除処理を講じなければならない。 d) 受注者が、不当介入の報告を怠った場合は、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。	8 仮設物撤去後の整地・跡片付け		8 仮設物撤去後の整地・跡片付け	
33 消防計画	工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事中の部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。	8 仮設物撤去後の整地・跡片付け		8 仮設物撤去後の整地・跡片付け	
34 工事特性等	受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。 また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。	8 仮設物撤去後の整地・跡片付け		8 仮設物撤去後の整地・跡片付け	
仮設工事(改修)		9 防水改修工事	1 降雨等に対する養生方法 ※3.1.3(5)による [3.1.3] 2 既存下地の処理 既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ※図示 [3.2.6] 設備機器架台、配管受部、パラベットの貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部等の納まり部の処理 ※図示(図示のない場合は監督職員と協議による) ・製造所の仕様による 3 アスファルト防水 屋根保護防水 防水層の種類 [3.3.2][3.3.5][表3.3.3～表3.3.6] 工法 種別 施工箇所 断熱材の厚さ 絶縁用シート 立上り部の保護 ・P2A ・A-1 ※A-2 ・A-3 ・P1B ・B-1 ※B-2 ・P2A1 ・A1-1 ※A1-2 ・A1-3 ・P1B1 ・B1-1 ※B1-2 厚さ: mm ・図示 ※フロッグワックス(70g/m2程度) 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ [3.3.2] ※表3.3.5及び表3.3.6による 絶縁工法のルーフィングの材料 [3.3.2] ・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類及び厚さ ※表3.3.3及び表3.3.4による ・砂付あなきルーフィング 押え金物の材質及び形状 ※図示 ・アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2] 乾式保護材 ・窯業系パネル(Ⅰ種 ※Ⅱ種) ・金属複合板 [3.3.5] 製造所 評価名簿による 立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置 [表3.3.4][表3.3.5] ・適用する ・適用しない 平場の保護コンクリート [3.3.5] こて仕上げの場合 ※80mm以上 床タイル張り等仕上げの場合 ※60mm以上 コンクリートの仕上りの平たんさ ※a種 ・b種 ・c種 [3.3.5][表8.1.5] 屋上排水溝 [3.3.5] 屋根露出防水 防水層の種類 [3.3.2][表3.3.7～表3.3.9] 工法 種別 施工箇所 断熱材 仕上塗料 種類 使用量 備考 ・M4C ・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4 ・M3D ・D-1 ・POD ※D-2 ・POD1 ・DI-1 ・M3D1 ※DI-2 ・M4D1 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 厚さ: mm ・図示 立上り部等の防水層撤去 ・行う ・行わない [表3.1.1] 立上り部等の保護層撤去 ・行う ・行わない 露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・行う ・行わない [3.2.6] 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の指定とする 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合で、ルーフレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示	9 防水改修工事	
1 足場その他	内部足場 ※きゃたつ、足場板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※本足場 外部足場の養生 ※図示 ・防護シート ○メッシュシート ・防音シート ・防音パネル 材料、撤去材の運搬方法 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ○E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示) ・屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。 ○高さ1.8m以下の範囲は金網養生の上、施錠すること。	9 防水改修工事		9 防水改修工事	
2 養生	○既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 [2.3.1] ・既存家具、既存設備等の養生 ※ビニルシート等 ・既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※図示 ・固定された備品等の移動 ※図示 ・開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。	9 防水改修工事		9 防水改修工事	
3 仮設間仕切り(屋内)	設置箇所 ※図示 [2.3.2][表2.3.1] 間仕切り種別 ・A種 ・B種 ※C種 A種、B種の場合 仕上げの材種 ※せっこうボード 厚さ9.5mm ・合板(普通合板) 厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 ・行う ※行わない 仮設扉設置箇所 ※図示 仮設扉種別 ・合板張り木製扉程度 ・図示	9 防水改修工事		9 防水改修工事	
4 監督職員事務所	・設ける (m程度) ※設けない	9 防水改修工事		9 防水改修工事	

松本 琢史 建築設計事務所
TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates
一級建築士大臣登録第322947号 松本 琢史

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	白水公民館屋根改修工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	改修特記仕様書(2)	縮尺	1/—	作図	令和6年9月	日

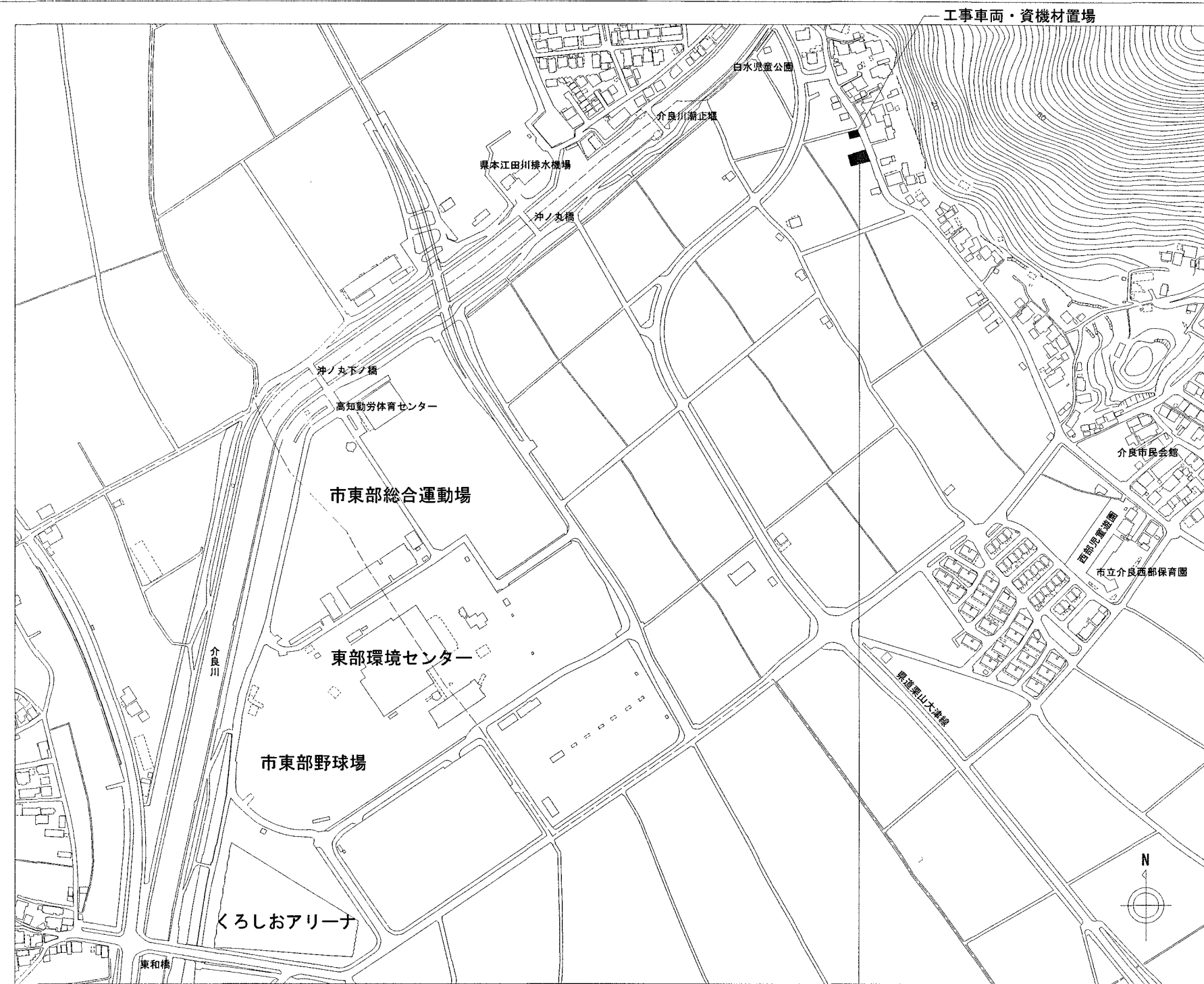
項目	特記事項																																							
6 塗膜防水	防水層の種類 [3.6.3][表3.6.1~表3.6.3] <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料の種類</th> <th>使用量</th> <th>高日射放射率塗料の適用</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・POX ・L4X</td> <td>・X-1 ・X-1H ・X-2 ・X-2H</td> <td></td> <td>※2成分形771# カク樹脂系 ・ふっ素樹脂系 ・771#シリコン樹脂系</td> <td>※製造所の仕様による</td> <td></td> <td>改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・PIY ・P2Y</td> <td>※Y-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>保護層 ・設ける ・設けない</td> </tr> </tbody> </table> 絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ウレタン防水材料 ※化学物質MOCAを含有しないもの ※主材料の製造所の仕様による [3.6.3]	工法	種別	施工箇所	仕上塗料の種類	使用量	高日射放射率塗料の適用	備考	・POX ・L4X	・X-1 ・X-1H ・X-2 ・X-2H		※2成分形771# カク樹脂系 ・ふっ素樹脂系 ・771#シリコン樹脂系	※製造所の仕様による		改修用ドレン ・設ける ・設けない	・PIY ・P2Y	※Y-2					保護層 ・設ける ・設けない																		
工法	種別	施工箇所	仕上塗料の種類	使用量	高日射放射率塗料の適用	備考																																		
・POX ・L4X	・X-1 ・X-1H ・X-2 ・X-2H		※2成分形771# カク樹脂系 ・ふっ素樹脂系 ・771#シリコン樹脂系	※製造所の仕様による		改修用ドレン ・設ける ・設けない																																		
・PIY ・P2Y	※Y-2					保護層 ・設ける ・設けない																																		
7 FRP防水	ガラスマット ・1層タイプ ・2層タイプ 表面の仕上げ ・平滑 ・粗面 押え金物の材質 ※アルミニウム 押え金物の寸法 ※図示																																							
⑧ シーリング	シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.4~3.7.7][表3.1.2] ①シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・ボンドプレーカー張り ・適用する [3.7.7] ・エッジング材張り ・適用する シーリング材の種類、施工箇所 [3.1.4][3.7.2][表3.7.1] ※下表による(下表以外は表3.7.1による) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類(記号)</th> <th>主成分による区分</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・SR-1 ・SR-2</td> <td>シリコーン系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>①MS-2</td> <td>変成シリコーン系</td> <td>屋根一壁取合い部</td> </tr> <tr> <td>・PS-2</td> <td>ポリサルファイド系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・PU-2</td> <td>ポリウレタン系</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 仕上げを行わない箇所 () [表3.7.1] シーリング材の目地寸法 [3.7.3] <table border="1"> <thead> <tr> <th>箇所</th> <th>打継ぎ/ひび割れ誘発目地</th> <th>ガラス回りの目地</th> <th>左記以外の目地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幅(mm)</td> <td>※20以上</td> <td>※幅及び深さ5以上[5.13]</td> <td>※10以上</td> </tr> <tr> <td>深さ(mm)</td> <td>※10以上</td> <td>.3]による場合を除く)</td> <td>※10以上</td> </tr> </tbody> </table> 接着性試験 [3.7.8] ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 材料 [3.8.2][表3.8.1] <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 種</th> <th>寸 法</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</td> <td></td> <td>※たてどい</td> </tr> <tr> <td>①硬質ポリ塩化ビニル管カラー(カラーVP)</td> <td>図示</td> <td>※たてどい</td> </tr> <tr> <td>②塩化ビニル雨どい(カラー)</td> <td>図示</td> <td>※軒どい ・たてどい</td> </tr> </tbody> </table> ⑨ とい ⑩ アルミニウム製笠木 種類 ・オープン形式(・押出250形 ・押出300形 ・押出350形) [3.9.2][表3.9.1] ・板材折曲げ形(・オープン形式 ・シール形式) 本体幅()mm 板厚(※2.0)mm 表面処理 種別 表5.2.2による()種 色合い等 ※標準色 既存の笠木等の撤去 ・行う(範囲 ※図示) ・行わない ・一時取外し再取付け[3.9.3] 新規アルミニウム製笠木の下の補修工法 ※図示 板材折曲げ形笠木の取付方法 ※図示 笠木の固定金具の固定工法 建築基準法に基づく風圧力の(※1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法	種類(記号)	主成分による区分	施工箇所	・SR-1 ・SR-2	シリコーン系		①MS-2	変成シリコーン系	屋根一壁取合い部	・PS-2	ポリサルファイド系		・PU-2	ポリウレタン系		箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地	幅(mm)	※20以上	※幅及び深さ5以上[5.13]	※10以上	深さ(mm)	※10以上	.3]による場合を除く)	※10以上	材 種	寸 法	施 工 箇 所	・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)		※たてどい	①硬質ポリ塩化ビニル管カラー(カラーVP)	図示	※たてどい	②塩化ビニル雨どい(カラー)	図示	※軒どい ・たてどい
種類(記号)	主成分による区分	施工箇所																																						
・SR-1 ・SR-2	シリコーン系																																							
①MS-2	変成シリコーン系	屋根一壁取合い部																																						
・PS-2	ポリサルファイド系																																							
・PU-2	ポリウレタン系																																							
箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地																																					
幅(mm)	※20以上	※幅及び深さ5以上[5.13]	※10以上																																					
深さ(mm)	※10以上	.3]による場合を除く)	※10以上																																					
材 種	寸 法	施 工 箇 所																																						
・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)		※たてどい																																						
①硬質ポリ塩化ビニル管カラー(カラーVP)	図示	※たてどい																																						
②塩化ビニル雨どい(カラー)	図示	※軒どい ・たてどい																																						
11 保証書(シーリング除く)	受注者、施工者、材料製造所連名による 10年保証(完成届提出日より15日後から)																																							
12 高日射放射率塗料塗り	JIS K 5675 (屋根用高日射放射率塗料)に適合するもの、または、グリーン購入法の高日射放射率防水に適合する保護塗料とする。																																							
内装改修工事																																								
1 他の部位との取合い等	撤去壁と取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※図示 ・壁厚程度 [6.1.3] 天井内の撤去壁と取合う天井の改修範囲 ※図示 ・壁面から両側600程度 撤去天井と取合う壁の改修範囲 ※図示 ・既存のまま 各部仕上げは、既存仕上げに準じたものとする																																							
2 既存床の撤去及び下地補修	・ビニル床シート等の除去等 ※仕上げ材のみ(接着剤等共) [6.2.2] ・下地モルタル共(撤去範囲:※図示 ・撤去範囲すべて) ・合成樹脂塗床材の除去等 ・機械的除去工法 ・目視し工法 撤去後の床の清掃範囲 ※改修部分の端部から1.0m程度の範囲(工事で汚した範囲共)																																							
3 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※図示 ・モルタル塗り([4.3.10]による) [6.3.2]																																							
4 ホルムアルデヒド放散量	※6.5.2(9)のいずれかによる。 [6.5.2]																																							
5 目視検査	日本農林規格以外の製材及び集成材について、目視による材の欠点がないことの確認は、樹種ごとに無作為に抽出し、その抽出割合は10%以上とする。 [6.5.2] ・下地用針葉樹製材																																							
6 製材	施工箇所 ※図示 ・ 樹種 ・杉 ・桧 寸法(mm) ※図示 ・ 等級 日本農林規格を使用する場合 : ・1級 ※2級 日本農林規格以外を使用する場合 : ※特1等 ・1等 含水率 ※15%以下 保存処理 ・行う ・行わない 防虫処理 ・行う ・行わない 難燃処理 ・行う ・行わない																																							

項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																		
7 造作用集成材	・造作用針葉樹製材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※図示</td> <td>・杉 ・桧</td> <td>※図示</td> <td>日本農林規格を使用する場合 見え掛かり面: ※上小節 ・無節 見え掛かり面以外: ※小節以上</td> <td>※15%以下</td> <td>・</td> <td>・行う ・行わない</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>日本農林規格以外を使用する場合</td> <td>見え掛かり面: ※上小節 ・無節 ・特1等 見え掛かり面以外: ※小節以上</td> <td></td> <td>・特等 ※1等 ・2等</td> <td>※10%以下</td> <td>・</td> <td>・行う ・行わない</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> ・広葉樹製材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※図示</td> <td>・</td> <td>※図示</td> <td>日本農林規格を使用する場合 : ・特等 ※1等 ・2等 日本農林規格以外を使用する場合 : ※特1等 ・1等</td> <td>※10%以下</td> <td>・</td> <td>・行う ・行わない</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> ホルムアルデヒド放散量等 ※6.5.2(9)による [6.5.2] ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※図示</td> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td>※15%以下</td> </tr> </tbody> </table> ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※図示</td> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: ※図示 芯材: ・</td> <td>※図示</td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td>※15%以下</td> </tr> </tbody> </table> ・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※図示</td> <td></td> <td>※図示</td> <td>※15%以下</td> <td>※15%以下</td> </tr> </tbody> </table> ・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※図示</td> <td></td> <td>※図示</td> <td>※図示</td> <td>※15%以下</td> <td>※15%以下</td> </tr> </tbody> </table> ・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 [6.5.2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※図示</td> <td></td> <td>※図示</td> <td>・有(・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・無(等級: ・1等 ・2等 ・3等)</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> </tbody> </table> ・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※図示</td> <td>※図示</td> <td>・有(・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・無(等級: ・1等 ・2等 ・3等)</td> <td>・行う ・行わない</td> <td>※14%以下</td> </tr> </tbody> </table> 9 直交集成材 ・CLT(直交集成材) <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>曲げ強度(強度等級)</th> <th>種別</th> <th>接着性能(使用環境)</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※図示</td> <td></td> <td>※図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> </tr> </tbody> </table> 10 合板等 6.5.2 下地用合板 ・普通合板 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>防火処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※図示</td> <td></td> <td>※5.5</td> <td>・ラワン ・しな</td> <td>※1類 広葉樹(※2等以上) ※2類 針葉樹(※C-D以上)</td> <td></td> <td>・行う ・行わない</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> ・構造用合板 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>等級</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※図示</td> <td></td> <td>※12.0</td> <td></td> <td>※1類 ※特1類</td> <td>※2級以上 ※C-D以上</td> <td></td> <td>※指定しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※図示</td> <td></td> <td>※図示</td> <td></td> <td>※1類 ・2類 ・特類</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> ・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※図示</td> <td>※図示</td> <td></td> <td>※1類 ・2類</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> ・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※図示</td> <td></td> <td>※15.0</td> <td>※1類 ・2類</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> ・パーティクルボード <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※図示</td> <td>※15.0</td> <td>・素地(・研磨板 ・無研磨板) ・単板張り (・研磨板 ・無研磨板)</td> <td>※13タイプ</td> <td>※P又はMタイプ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	防虫処理	難燃処理	※図示	・杉 ・桧	※図示	日本農林規格を使用する場合 見え掛かり面: ※上小節 ・無節 見え掛かり面以外: ※小節以上	※15%以下	・	・行う ・行わない	・	日本農林規格以外を使用する場合	見え掛かり面: ※上小節 ・無節 ・特1等 見え掛かり面以外: ※小節以上		・特等 ※1等 ・2等	※10%以下	・	・行う ・行わない	・	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	防虫処理	難燃処理	※図示	・	※図示	日本農林規格を使用する場合 : ・特等 ※1等 ・2等 日本農林規格以外を使用する場合 : ※特1等 ・1等	※10%以下	・	・行う ・行わない	・	施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	含水率	※図示			※図示		※1等 ・2等	※15%以下	施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	含水率	※図示			化粧薄板: ※図示 芯材: ・	※図示		※1等 ・2等	※15%以下	施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	※図示		※図示	※15%以下	※15%以下	施工箇所	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	※図示		※図示	※図示	※15%以下	※15%以下	施工箇所	品名	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	※図示		※図示	・有(・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・無(等級: ・1等 ・2等 ・3等)	・行う ・行わない	施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	※図示	※図示	・有(・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・無(等級: ・1等 ・2等 ・3等)	・行う ・行わない	※14%以下	施工箇所	品名	曲げ強度(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	※図示		※図示				※図示	施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理	※図示		※5.5	・ラワン ・しな	※1類 広葉樹(※2等以上) ※2類 針葉樹(※C-D以上)		・行う ・行わない	・	・	施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理	強度等級	※図示		※12.0		※1類 ※特1類	※2級以上 ※C-D以上		※指定しない		施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	※図示		※図示		※1類 ・2類 ・特類	・	施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	※図示	※図示		※1類 ・2類	・	施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理	※図示		※15.0	※1類 ・2類			・	施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	※図示	※15.0	・素地(・研磨板 ・無研磨板) ・単板張り (・研磨板 ・無研磨板)	※13タイプ	※P又はMタイプ	
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	防虫処理	難燃処理																																																																																																																																																																																																												
※図示	・杉 ・桧	※図示	日本農林規格を使用する場合 見え掛かり面: ※上小節 ・無節 見え掛かり面以外: ※小節以上	※15%以下	・	・行う ・行わない	・																																																																																																																																																																																																												
日本農林規格以外を使用する場合	見え掛かり面: ※上小節 ・無節 ・特1等 見え掛かり面以外: ※小節以上		・特等 ※1等 ・2等	※10%以下	・	・行う ・行わない	・																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	防虫処理	難燃処理																																																																																																																																																																																																												
※図示	・	※図示	日本農林規格を使用する場合 : ・特等 ※1等 ・2等 日本農林規格以外を使用する場合 : ※特1等 ・1等	※10%以下	・	・行う ・行わない	・																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																													
※図示			※図示		※1等 ・2等	※15%以下																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																												
※図示			化粧薄板: ※図示 芯材: ・	※図示		※1等 ・2等	※15%以下																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																															
※図示		※図示	※15%以下	※15%以下																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																														
※図示		※図示	※図示	※15%以下	※15%以下																																																																																																																																																																																																														
施工箇所	品名	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理																																																																																																																																																																																																															
※図示		※図示	・有(・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・無(等級: ・1等 ・2等 ・3等)	・行う ・行わない																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率																																																																																																																																																																																																															
※図示	※図示	・有(・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・無(等級: ・1等 ・2等 ・3等)	・行う ・行わない	※14%以下																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	品名	曲げ強度(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)																																																																																																																																																																																																													
※図示		※図示				※図示																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理																																																																																																																																																																																																											
※図示		※5.5	・ラワン ・しな	※1類 広葉樹(※2等以上) ※2類 針葉樹(※C-D以上)		・行う ・行わない	・	・																																																																																																																																																																																																											
施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理	強度等級																																																																																																																																																																																																											
※図示		※12.0		※1類 ※特1類	※2級以上 ※C-D以上		※指定しない																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																														
※図示		※図示		※1類 ・2類 ・特類	・																																																																																																																																																																																																														
施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																															
※図示	※図示		※1類 ・2類	・																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理																																																																																																																																																																																																													
※図示		※15.0	※1類 ・2類			・																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																														
※図示	※15.0	・素地(・研磨板 ・無研磨板) ・単板張り (・研磨板 ・無研磨板)	※13タイプ	※P又はMタイプ																																																																																																																																																																																																															

項目	特記事項																								
11 接合具等	・構造用パネル <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工場所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>等級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1級 ・2級 ・3級 ・4級</td> </tr> </tbody> </table> ・メディアムデンシティーファイバーボード(MDF) <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表裏の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 造作材の化粧面の釘打ち [6.5.3] ・適用する (※隠し釘打ち) ・適用しない 諸金物の形状、寸法及び材質 [6.5.3][表6.5.3~6.5.5] ・6.5.3(2)(7)による 接着剤 ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [6.5.3]	施工場所	品名	厚さ(mm)	等級				・1級 ・2級 ・3級 ・4級	施工箇所	厚さ(mm)	表裏の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分										
施工場所	品名	厚さ(mm)	等級																						
			・1級 ・2級 ・3級 ・4級																						
施工箇所	厚さ(mm)	表裏の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																				
12 木れんが	取付工法 ※接着工法 ・あと施工アンカー (径:) 長さ: [6.5.4] 接着剤 ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [6.5.4]																								
13 防腐・防蟻処理	・薬剤の加圧注入による防腐及び防蟻処理 [6.5.5] <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> </tbody> </table> ・薬剤の塗布等による防腐及び防蟻処理 <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※薬剤製造所の仕様による</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位 () ・合板等の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部位 () [6.5.6]	適用部材	保存処理性能区分		・K2 ・K3 ・K4		・K2 ・K3 ・K4	適用部材	処理の方法	薬剤の種類		※薬剤製造所の仕様による													
適用部材	保存処理性能区分																								
	・K2 ・K3 ・K4																								
	・K2 ・K3 ・K4																								
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																							
	※薬剤製造所の仕様による																								
14 間仕切軸組に用いる木材	※図示 [6.5.6]																								
15 床組に用いる木材	※図示 [6.5.6]																								
16 窓、出入口、その他に用いる木材	※図示 [6.5.7]																								
17 縁甲板及び上がりがまちに用いる木材	※図示 [6.5.8]																								
18 壁及び天井に用いる木材	※図示 [6.5.9]																								
19 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 [6.6.2][表6.6.1] 屋内 (※19形 ・25形) 屋外 (・19形 ※25形) 屋外の軒天井: ピロティ天井等 野縁等の間隔 [6.6.3][表6.6.2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>野縁</th> <th>野縁受</th> <th>つりボルト及びインサート</th> <th>周辺部の端からの距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー [6.6.4] ※既存の埋込みインサートを使用する ・新たにつりボルト用あと施工アンカーを設ける つりボルトの引張試験 試験箇所数及び確認強度は6.6.4(9)による 屋内 ※行う ・行わない 屋外 ※行う ・行わない ・耐風圧性を考慮した補強 補強方法: ※図示 [6.6.4] 適用箇所: ※図示 ・つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強 補強方法: ※図示 [6.6.4] 適用箇所: ※図示 ・天井下地材における耐風圧性を考慮した補強 補強方法: ※図示 適用箇所: ※すべて ・図示 補強方法: ・国土交通省平成25年告示第771号の基準に適合するもの ※6.6.4(8)による。ただし、ふところ1.5m以下の場合も適用し、	野縁	野縁受	つりボルト及びインサート	周辺部の端からの距離																				
野縁	野縁受	つりボルト及びインサート	周辺部の端からの距離																						
20 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナー等の種類 ※表6.7.1による ・図示 [6.7.3][表6.7.1] スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 [6.7.3] 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※14.5.4(5)による ・図示 [6.7.4]																								
21 (床仕上げ)ビニル床シート張り	[6.8.2~6.8.3] <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>特殊機能</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※FS</td> <td>※無地</td> <td>※2.0</td> <td>・帯電防止 ・耐薬品性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※FS</td> <td>※無地</td> <td>※2.0</td> <td>・帯電防止 ・耐薬品性</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 接合部の処理 ※熱溶接工法 ・突付け(施工箇所:) 帯電防止性能 ※帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上~3.2未満又は 体積電気抵抗値(JIS A 1454) $1 \times 10^7 \sim 10^{10} \Omega$ 程度 下地 ※図示 [6.8.2~6.8.3]	種類の記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	施工箇所	備考	※FS	※無地	※2.0	・帯電防止 ・耐薬品性			※FS	※無地	※2.0	・帯電防止 ・耐薬品性								
種類の記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	施工箇所	備考																				
※FS	※無地	※2.0	・帯電防止 ・耐薬品性																						
※FS	※無地	※2.0	・帯電防止 ・耐薬品性																						
22 ビニル床タイル張り	[6.8.2~6.8.3] <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>特殊機能</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※KT</td> <td>・無地</td> <td>※300×300</td> <td>※2.0</td> <td>・帯電防止 ・防汚性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・TT</td> <td>・柄物</td> <td>・2.0</td> <td>・</td> <td>・帯電防止 ・防汚性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOA</td> <td>・FOB</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・帯電防止 ・防汚性</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 帯電防止性能 ※帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上~3.2未満又は 体積電気抵抗値(JIS A 1454) $1 \times 10^7 \sim 10^{10} \Omega$ 程度	種類の記号	色柄	寸法	厚さ(mm)	特殊機能	施工箇所	※KT	・無地	※300×300	※2.0	・帯電防止 ・防汚性		・TT	・柄物	・2.0	・	・帯電防止 ・防汚性		・FOA	・FOB	・	・	・帯電防止 ・防汚性	
種類の記号	色柄	寸法	厚さ(mm)	特殊機能	施工箇所																				
※KT	・無地	※300×300	※2.0	・帯電防止 ・防汚性																					
・TT	・柄物	・2.0	・	・帯電防止 ・防汚性																					
・FOA	・FOB	・	・	・帯電防止 ・防汚性																					
23 誘導用床材及び警告用床材	[6.8.2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>寸 法(mm)</th> <th>厚 さ(mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・レジンコンクリート系</td> <td>※300×300</td> <td>※30</td> <td>※JIS T 9251適合品</td> </tr> <tr> <td>・タイル系</td> <td></td> <td>・60</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・塩化ビニル系</td> <td>※300×300</td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 類	寸 法(mm)	厚 さ(mm)	備 考	・レジンコンクリート系	※300×300	※30	※JIS T 9251適合品	・タイル系		・60		・塩化ビニル系	※300×300	※図示									
種 類	寸 法(mm)	厚 さ(mm)	備 考																						
・レジンコンクリート系	※300×300	※30	※JIS T 9251適合品																						
・タイル系		・60																							
・塩化ビニル系	※300×300	※図示																							
24 ビニル幅木	[6.8.2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 種</th> <th>厚 さ(mm)</th> <th>高 さ(mm)</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※軟質</td> <td>・硬質</td> <td>※1.5</td> <td>※60 ・75 ・100</td> </tr> </tbody> </table>	材 種	厚 さ(mm)	高 さ(mm)	施 工 箇 所	※軟質	・硬質	※1.5	※60 ・75 ・100																
材 種	厚 さ(mm)	高 さ(mm)	施 工 箇 所																						
※軟質	・硬質	※1.5	※60 ・75 ・100																						

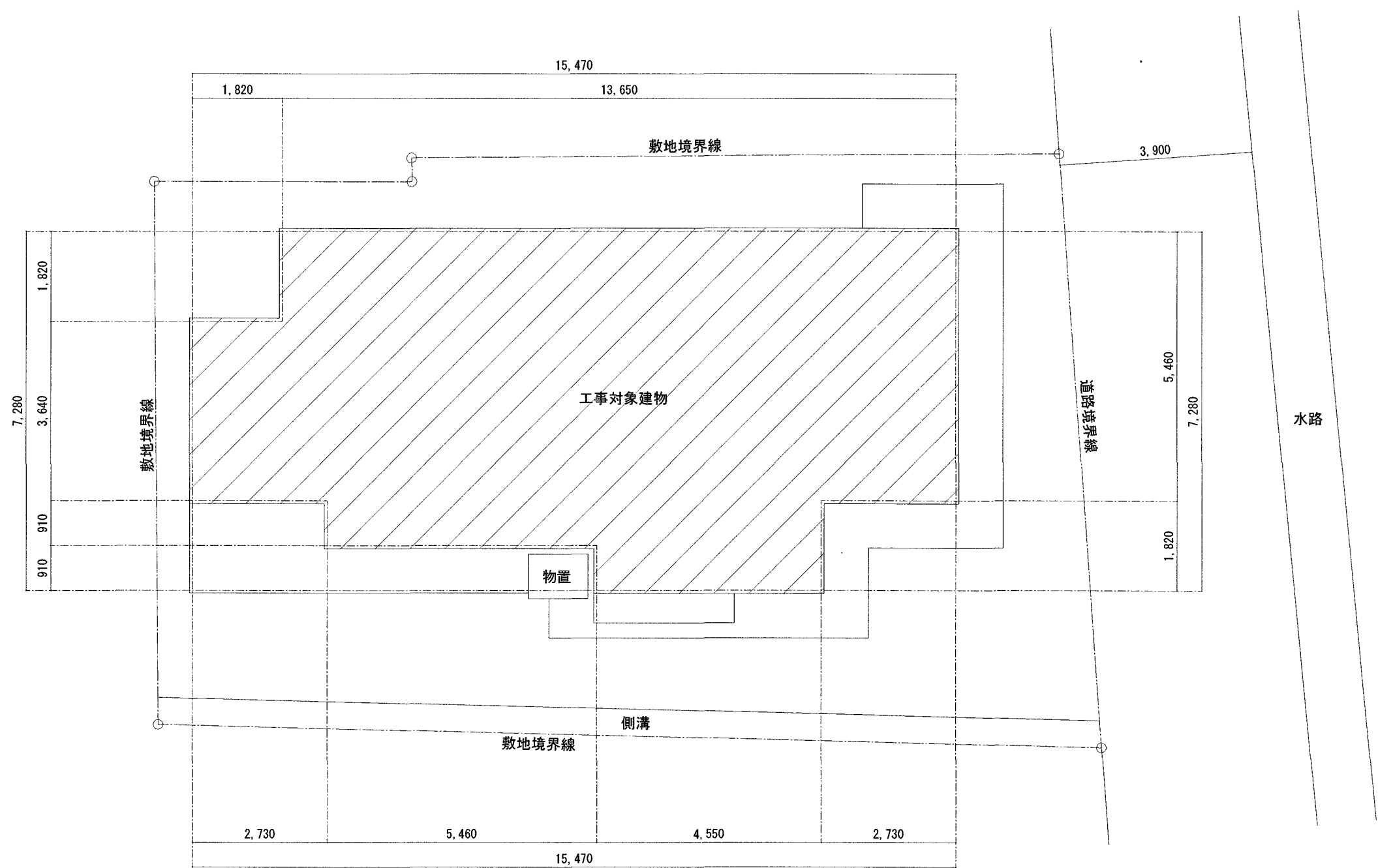
項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項		
25	ゴム床タイル張り 色柄 種類 厚さ(mm) 寸法(mm) 備考 [6.8.2] ・単層・複層・3.0・4.0・5.0・6.0・9.0	30	(天井、壁仕上げ) せつこうボードその他のボード及び合板張り 材料 種類 JISの記号 厚さ(mm) 規格等 [6.13.2][表6.13.1] ・硬質木毛セメント板 HW 15 20 25 ・普通木毛セメント板 NW 15 20 25 ・硬質木片セメント板 HF 12 16 18 21 ・普通木片セメント板 NF 30 ・けい酸カルシウム板 0.8FK タイプ2(無石綿) 6 8 (ノシアスベスト) 1.0FK ・化粧けい酸カルシウム板 6 ・ロックウール化粧吸音板 DR ※フラットタイプ(※9(準不燃)・12()) ※凹凸タイプ(※12(不燃)・15()) ・ロックウール吸音ボード1号 RW-B ※25 ・ガラスウール吸音ボード2号32K GW-B ※25(ガラスクロス包) ・せつこうボード GB-R ※12.5(不燃)・15(不燃)・9.5(準不燃) ・不燃積層せつこうボード GB-NC ※9.5(不燃)・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様) ・シージングせつこうボード GB-S ※12.5(不燃)・15(不燃)・9.5(準不燃) ・強化せつこうボード GB-F ※12.5(不燃)・15(不燃) ・せつこうラスボード GB-L 9.5 12.5 ・化粧せつこうボード(トラバーチン模様) GB-D 9.5(準不燃)・12.5(不燃) ・化粧せつこうボード(木目) GB-D 9.5(準不燃)・12.5(不燃) 模様() ・普通合板 表板の樹種名 ※図示 板面の品質() 厚さ(mm) () 接着の程度 1類 2類 ・防虫処理 難燃処理 防炎処理 ・コンクリート型枠用合板 厚さ(mm) () ・構造用合板 厚さ(mm) () ・天然木化粧合板 化粧板の樹種名 () 接着の程度 1類 2類 厚さ(mm) () ・防虫処理 ○特殊加工化粧合板 () (・メラミン化粧合板) 表面性能 F・FW・W・SW (・ポリエステル化粧合板) 接着の程度 1類 2類 (・プリント合板) 厚さ(mm) (2.4) (・杉板天井板柄プリント合板) 防虫処理 ・ミディアムデンシティファイバーボード MDF 3 7 9 12 ・単板張りパーティクルボード ※無研磨板・研磨板 10 12 15 18 ・化粧パーティクルボード 単層オーバーレイ 塗装 プラスチックオーバーレイ 10(難燃) 12(難燃) ・ハードボード(素地) HB ※無研磨板(スタンダード・テンパード) 研磨板(スタンダード・テンパード) ・ハードボード(化粧) 内装用 外装用 2.5 3.5 5 7 ・インシュレーションボード IB A級(天井仕上) 内装仕上 9 12 15 18 せつこうボードの目地処理の種類 [6.13.3][表6.13.5] 目地工法の種類 せつこうボードのエッジの種類 継目処理工法 テーパーエッジ ※ベベルエッジ 突付け工法 ※ベベルエッジ スクエアエッジ 目透し工法 ※スクエアエッジ ベベルエッジ 合板類の張付け A種 ※B種 [6.13.3][表6.13.3] MDF及びパーティクルボード並びに合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆, またはそれと同等と認められるもの [6.13.2] 遮音壁に用いるシール材 シーリング材 ジョイントコンパウンド [6.13.2] 天井のボードの重ね張りの張り付け方法(ロックウール吸音板を除く) [6.13.3] 壁紙の種類 程度 防火性能 施工箇所 [6.14.2] ※塩化ビニル樹脂系 不燃 準不燃 難燃 ・ 不燃 準不燃 難燃 ・ 不燃 準不燃 難燃 素地ごしええ モルタル面及びプラスター面 A種 ※B種 [6.14.3][表7.3.4] コンクリート面及びALCパネル面 A種 ※B種 [6.14.3][表7.3.5] せつこうボード及びその他のボード面 A種 ※B種 [6.14.3][表7.3.7] 壁紙のホルムアルデヒドの放散量※F☆☆☆☆, またはそれと同等と認められるもの [6.14.2] 壁紙, ビニル床タイル, ビニル床シート, 幅木, フローリングその他内装に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ モルタル ※現場調合材料 既調合材料 () [6.15.3] 既製目地材 適用する(形状:※図示) () [6.15.5] 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処理 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込, ステンレス製ラス等張り 図示 () [6.15.6] 床の目地 適用する (目地割り ※2m程度 最大目地間隔3m程度) (種類 ※押し目地) () [6.15.6] タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着剤試験 ※行う 行わない 伸縮調整目地の位置 図示 ※6.16.2(1)(7)による [6.16.2] タイルの見本焼き ※行わない 行う [6.16.2] タイルの試験張り ※行わない 行う [6.16.2] セメントモルタルによるタイル張り [6.16.3] 施工箇所 形状寸法(mm) 吸水率の区分 うわぐすり 色 耐凍害性 耐滑り性 役物の適用 品質(公表単価(円/m2)) I類 II類 III類 施釉 無釉 標準 特注 標準的な曲がりの役物は一体成形とする。 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 MCR工法 目荒し工法 壁タイル張りの工法 内装タイル 密着張り 改良圧着張り [表6.16.4]	35	セルフレベリング材塗り 環境配慮改修工事 ① 石綿含有建材の除去工事 石綿含有建材の有無及び除去等 [9.1.3~9.1.5] 石綿含有建材の種類 使用部位 使用材料 除去工法 飛散性 石綿含有吹付け材 ※9.1.3による 石綿含有保温材 ※9.1.3による 非飛散性 石綿含有成形板等 屋根 着色石綿セメント板 7577414-712 ※9.1.5による 石綿含有吹付け材の飛散防止処置 ※湿潤化 固形化 石綿含有仕上塗材の除去 使用部位 () [9.1.6] 使用材料 () 除去工法 ※厚生労働省「石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル」による工法の内、飛散防止に関し隔離措置と同等と判断できる工法 除去範囲 ※図示 行う 試験施工 ※行わない 行う 処分 管理型・安定型を確認の上、廃棄物処理法による許可を受けた施設で適切に処理すること。 [9.1.3] 石綿粉じん濃度測定 ※建築物石綿含有建材調査報告書により、監督職員と協議する。 [9.1.1] 行う 行わない 測定時期 測定場所 測定名称 測定点 [9.1.1] 処理作業前 処理作業室内 測定1 ※2点 3点 施工区画周辺又は敷地境界 測定2 ※2点 処理作業中 処理作業室内 測定3 ※2点 セキュリティゾーン入口 測定4 ※1点 ※集じん、排気装置の排出口 (処理作業室外の場合) 測定5 ※1点 施工区画周辺又は敷地境界 測定6 ※4方向 各1点 処理作業後 処理作業室内 測定7 ※2点以上 (隔離シート撤去前) 施工区画周辺又は敷地境界 測定8 ※4方向 各1点 測定方法 JIS K3860-1に基づいた測定 (測定4 測定5 測定6 測定7 ()) 自動測定器による測定 (測定4 測定5 ())	36	・有機系接着剤によるタイル張り [6.16.4] 施工箇所 形状寸法(mm) 吸水率の区分 うわぐすり 色 耐凍害性 耐滑り性 役物の適用 品質(公表単価(円/m2)) I類 II類 III類 施釉 無釉 標準 特注 標準的な曲がりの役物は一体成形とする。 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [6.16.4] 壁タイル張りの工法 内装タイル ※内装壁タイル接着剤張り [表6.16.6] 種類 標準塗厚(mm) 施工箇所 [6.17.2][6.17.3][表6.17.1] せつこう系・セメント系 ※10
26	カーペット敷き ・織じゅうたん [6.9.2][表6.9.1] 織り方 バイル形状 帯電性 品質(公表単価(円/m2)) ・カットバイル ・ループバイル ・カット、ループ併用 色柄, バイル系の種類 ※模様のない無地のもの 種別 (A種 B種 C種) ・タフテッドカーペット バイル形状 バイル長 工法 帯電性 品質(公表単価(円/m2)) ・カットバイル ※全面接着工法 帯電性 ・ループバイル ※グリッパー工法 帯電性 ・レベーループバイル ・カット、ループ併用 ・タイルカーペット 種類 バイル形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 品質(公表単価(円/m2)) [6.9.2] ※第一種 カットバイル ※ループバイル ※500×500 ※6.5 ※第二種 カットバイル, ループ併用 ※7.0 タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き 模様流し [6.9.3] 階段部分 ※模様流し 市松敷き 下敷き材 ※JIS L 3204(反毛フェルト)に基づく第2種2号, 呼び厚さ 8.0mm [6.9.2] 取付け用部品 見切り ※(材質 種類 形状) 図示 [6.9.2] 押え金物 ※(材質 種類 形状) 図示	31	壁紙張り 壁紙の種類 程度 防火性能 施工箇所 [6.14.2] ※塩化ビニル樹脂系 不燃 準不燃 難燃 ・ 不燃 準不燃 難燃 ・ 不燃 準不燃 難燃 素地ごしええ モルタル面及びプラスター面 A種 ※B種 [6.14.3][表7.3.4] コンクリート面及びALCパネル面 A種 ※B種 [6.14.3][表7.3.5] せつこうボード及びその他のボード面 A種 ※B種 [6.14.3][表7.3.7] 壁紙のホルムアルデヒドの放散量※F☆☆☆☆, またはそれと同等と認められるもの [6.14.2] 壁紙, ビニル床タイル, ビニル床シート, 幅木, フローリングその他内装に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ モルタル ※現場調合材料 既調合材料 () [6.15.3] 既製目地材 適用する(形状:※図示) () [6.15.5] 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処理 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込, ステンレス製ラス等張り 図示 () [6.15.6] 床の目地 適用する (目地割り ※2m程度 最大目地間隔3m程度) (種類 ※押し目地) () [6.15.6] タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着剤試験 ※行う 行わない 伸縮調整目地の位置 図示 ※6.16.2(1)(7)による [6.16.2] タイルの見本焼き ※行わない 行う [6.16.2] タイルの試験張り ※行わない 行う [6.16.2] セメントモルタルによるタイル張り [6.16.3] 施工箇所 形状寸法(mm) 吸水率の区分 うわぐすり 色 耐凍害性 耐滑り性 役物の適用 品質(公表単価(円/m2)) I類 II類 III類 施釉 無釉 標準 特注 標準的な曲がりの役物は一体成形とする。 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 MCR工法 目荒し工法 壁タイル張りの工法 内装タイル 密着張り 改良圧着張り [表6.16.4]	32	接着剤 壁紙, ビニル床タイル, ビニル床シート, 幅木, フローリングその他内装に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆		
27	合成樹脂塗床 種別 施工箇所 工法 仕上げの種類 [6.10.3][表6.10.4~表6.10.8] ・厚膜型塗床材 ※図示 ※平滑仕上げ 防滑仕上げ ・弾性ウレタン樹脂系塗床 ※図示 ※つや消し仕上げ ・厚膜型塗床材 ※図示 ※平滑仕上げ エポキシ樹脂系塗床 ※図示 ※平滑仕上げ ・薄膜型塗床 ※図示 ※平滑仕上げ 塗床材の塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [6.10.2]	32	接着剤 壁紙, ビニル床タイル, ビニル床シート, 幅木, フローリングその他内装に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆				
28	フローリング張り 単層フローリング [6.11.2][6.11.3][6.11.4][6.11.6][表6.11.1][表6.11.3][表6.11.5] 種類 工法 厚さ(mm) 樹種 備考 ・フローリングボード1等 釘留め工法(根太張り) ※15 ・釘留め工法(直張り) 12 ・接着工法 8 ・フローリングアップ1等 釘留め工法 ※15 ・接着工法 フローリングボードの幅, 長さ ※表6.11.1, 表6.11.3, 表6.11.5による フローリングブロックの幅, 長さ 300×300 303×303 複合フローリング [表6.11.2][表6.11.4][表6.11.6] 工法 種別 厚さ(mm) 樹種 備考 ・釘留め工法(根太張り) A種 ※12 ・釘留め工法(直張り) B種 15 ・接着工法 C種 (ひき板の厚さ) 3mm以上 ※表6.11.4 フローリングの幅, 長さ ※表6.11.2, 表6.11.4, 表6.11.6による 接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート [6.11.5] 塗装 工場塗装 ウレタン樹脂ワニス塗り [6.11.6][7.11.1] 現場塗装 ※ウレタン樹脂ワニス塗り A種 ※B種 ・オイルステイン塗りのうねワックス塗り ・生地そのままワックス塗り (自然塗料) 複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆, またはそれと同等と認められるもの [6.11.2]	33	モルタル塗り モルタル ※現場調合材料 既調合材料 () [6.15.3] 既製目地材 適用する(形状:※図示) () [6.15.5] 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処理 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込, ステンレス製ラス等張り 図示 () [6.15.6] 床の目地 適用する (目地割り ※2m程度 最大目地間隔3m程度) (種類 ※押し目地) () [6.15.6] タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着剤試験 ※行う 行わない 伸縮調整目地の位置 図示 ※6.16.2(1)(7)による [6.16.2] タイルの見本焼き ※行わない 行う [6.16.2] タイルの試験張り ※行わない 行う [6.16.2] セメントモルタルによるタイル張り [6.16.3] 施工箇所 形状寸法(mm) 吸水率の区分 うわぐすり 色 耐凍害性 耐滑り性 役物の適用 品質(公表単価(円/m2)) I類 II類 III類 施釉 無釉 標準 特注 標準的な曲がりの役物は一体成形とする。 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 MCR工法 目荒し工法 壁タイル張りの工法 内装タイル 密着張り 改良圧着張り [表6.16.4]				
29	畳敷き 畳 種別 ※D種 (畳床・KT-I・KT-II※KT-III・KT-K・KT-N) [6.12.2][表6.12.1] ・衝撃緩和型畳 畳表 C1 C2	34	タイル張り 伸縮調整目地の位置 図示 ※6.16.2(1)(7)による [6.16.2] タイルの見本焼き ※行わない 行う [6.16.2] タイルの試験張り ※行わない 行う [6.16.2] セメントモルタルによるタイル張り [6.16.3] 施工箇所 形状寸法(mm) 吸水率の区分 うわぐすり 色 耐凍害性 耐滑り性 役物の適用 品質(公表単価(円/m2)) I類 II類 III類 施釉 無釉 標準 特注 標準的な曲がりの役物は一体成形とする。 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 MCR工法 目荒し工法 壁タイル張りの工法 内装タイル 密着張り 改良圧着張り [表6.16.4]				

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
4 造作用集成材	<p>・広葉樹製材</p> <table border="1"> <tr><td>施工箇所</td><td>※ 図示</td><td>樹種</td><td>・</td></tr> <tr><td>寸法(mm)</td><td>※ 図示</td><td>等級</td><td>日本農林規格を使用する場合 : ・特等 ※ 1等 ・ 2等 日本農林規格以外を使用する場合 : ※ 特一等 ・ 一等</td></tr> <tr><td>形状</td><td>※ 図示</td><td>含水率</td><td>※ 10%以下</td></tr> <tr><td>保存処理</td><td>・</td><td>防虫処理</td><td>・ 行う ・ 行わない</td></tr> <tr><td>防虫処理</td><td>・ 行う ・ 行わない</td><td>難燃処理</td><td>・ 行う ・ 行わない</td></tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材</p> <table border="1"> <tr><td>施工箇所</td><td>品名</td><td>樹種</td><td>寸法(mm)</td><td>見付け材面数</td><td>見付け材面の品質</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>※ 図示</td><td></td><td></td><td>※ 1等 ・ 2等</td></tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr><td>施工箇所</td><td>品名</td><td>樹種</td><td>化粧薄板の厚さ(mm)</td><td>寸法(mm)</td><td>見付け材面数</td><td>見付け材面の品質</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>化粧薄板:</td><td></td><td>※ 図示</td><td></td><td>※ 1等 ・ 2等</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>芯材:</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>化粧薄板:</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>芯材:</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <table border="1"> <tr><td>施工箇所</td><td>樹種</td><td>寸法(mm)</td><td>見付け材面の品質</td><td>含水率</td></tr> <tr><td></td><td>※ 図示</td><td></td><td></td><td>※ 15%以下</td></tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr><td>施工箇所</td><td>樹種</td><td>化粧薄板の厚さ(mm)</td><td>寸法(mm)</td><td>見付け材面の品質</td><td>含水率</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>※ 図示</td><td></td><td>※ 15%以下</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>化粧薄板:</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>芯材:</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr><td>施工箇所</td><td>品名</td><td>厚さ(mm)</td><td>表面の化粧加工</td><td>防虫処理</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>・有(・天然木化粧加工・塗装加工) ・ 行う ・ 図示 ・ 無(等級: ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等) ・ 行わない</td><td></td></tr> </table> <p>・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr><td>施工箇所</td><td>厚さ(mm)</td><td>表面の化粧加工</td><td>防虫処理</td><td>含水率</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>・有(・天然木化粧加工・塗装加工) ・ 行う ・ 図示 ・ 無(等級: ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等) ・ 行わない</td><td></td><td>※ 14%以下</td></tr> </table> <p>・CLT(直交集成材)</p> <table border="1"> <tr><td>施工箇所</td><td>品名</td><td>曲げ強度(強度等級)</td><td>種別</td><td>接着性能(使用環境)</td><td>樹種</td><td>寸法(mm)</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※ 図示</td></tr> </table> <p>下地用合板</p> <p>・「合板の日本農林規格」による普通合板</p> <table border="1"> <tr><td>施工箇所(品名)</td><td>厚さ(mm)</td><td>単板の樹種名</td><td>接着の程度</td><td>板面の品質</td><td>防虫処理</td><td>難燃処理</td><td>防火処理</td></tr> <tr><td></td><td>※ 5.5</td><td>・ラワン ・ しな</td><td>※ 1類</td><td>広葉樹(※ 2等以上)</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>・ 2類</td><td>針葉樹(※ C-D以上)</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr> </table> <p>・「合板の日本農林規格」による構造用合板</p> <table border="1"> <tr><td>施工箇所(品名)</td><td>厚さ(mm)</td><td>単板の樹種名</td><td>接着の程度</td><td>等級</td><td>板面の品質</td><td>防虫処理</td><td>強度等級</td></tr> <tr><td></td><td>※ 12.0</td><td>・</td><td>※ 1類</td><td>※ 2級以上</td><td>※ C-D以上</td><td>・</td><td>※ 指定しない</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>・ 特類</td><td>・ 1級</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr> </table> <p>・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板</p> <table border="1"> <tr><td>施工箇所(品名)</td><td>厚さ(mm)</td><td>単板の樹種名</td><td>接着の程度</td><td>防虫処理</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>※ 1類 ・ 特類</td><td>・</td></tr> </table> <p>・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板</p> <table border="1"> <tr><td>施工箇所</td><td>厚さ(mm)</td><td>化粧板に使用する単板の樹種名</td><td>接着の程度</td><td>防虫処理</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>※ 1類 ・ 2類</td><td>・</td></tr> </table> <p>・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板</p> <table border="1"> <tr><td>施工箇所(品名)</td><td>厚さ(mm)</td><td>接着の程度</td><td>単板の樹種名</td><td>化粧加工の方法</td><td>防虫処理</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>※ 1類 ・ 2類</td><td></td><td></td><td>・</td></tr> </table> <p>・パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr><td>施工箇所</td><td>厚さ(mm)</td><td>表裏面の状態による区分</td><td>曲げ強さによる区分</td><td>耐水性による区分</td><td>難燃性による区分</td></tr> <tr><td></td><td>※ 15.0</td><td>・ 素地(研磨品) ・ 単板張り(・ 研磨品 ・ 無研磨品)</td><td>※ 13タイプ</td><td>※ MR1(M)又はMR2(P)タイプ</td><td></td></tr> </table> <p>・構造用パネル</p> <table border="1"> <tr><td>施工箇所(品名)</td><td>寸法(mm)</td><td>等級</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級</td></tr> </table> <p>・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)</p> <table border="1"> <tr><td>施工箇所</td><td>厚さ(mm)</td><td>表裏の状態による区分</td><td>曲げ強さによる区分</td><td>接着剤による区分</td><td>難燃性による区分</td></tr> </table> <p>ホルムアルデヒド放散量等 ※ F☆☆☆☆, またはそれと同等と認められるもの (12.2.2)(12.2.3)</p>	施工箇所	※ 図示	樹種	・	寸法(mm)	※ 図示	等級	日本農林規格を使用する場合 : ・特等 ※ 1等 ・ 2等 日本農林規格以外を使用する場合 : ※ 特一等 ・ 一等	形状	※ 図示	含水率	※ 10%以下	保存処理	・	防虫処理	・ 行う ・ 行わない	防虫処理	・ 行う ・ 行わない	難燃処理	・ 行う ・ 行わない	施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質			※ 図示			※ 1等 ・ 2等	施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質			化粧薄板:		※ 図示		※ 1等 ・ 2等			芯材:							化粧薄板:							芯材:					施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率		※ 図示			※ 15%以下	施工箇所	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率				※ 図示		※ 15%以下			化粧薄板:						芯材:				施工箇所	品名	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理				・有(・天然木化粧加工・塗装加工) ・ 行う ・ 図示 ・ 無(等級: ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等) ・ 行わない		施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率			・有(・天然木化粧加工・塗装加工) ・ 行う ・ 図示 ・ 無(等級: ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等) ・ 行わない		※ 14%以下	施工箇所	品名	曲げ強度(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)							※ 図示	施工箇所(品名)	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理		※ 5.5	・ラワン ・ しな	※ 1類	広葉樹(※ 2等以上)	・	・	・				・ 2類	針葉樹(※ C-D以上)	・	・	・	施工箇所(品名)	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理	強度等級		※ 12.0	・	※ 1類	※ 2級以上	※ C-D以上	・	※ 指定しない				・ 特類	・ 1級	・	・	・	施工箇所(品名)	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理				※ 1類 ・ 特類	・	施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理				※ 1類 ・ 2類	・	施工箇所(品名)	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理			※ 1類 ・ 2類			・	施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分		※ 15.0	・ 素地(研磨品) ・ 単板張り(・ 研磨品 ・ 無研磨品)	※ 13タイプ	※ MR1(M)又はMR2(P)タイプ		施工箇所(品名)	寸法(mm)	等級			・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級	施工箇所	厚さ(mm)	表裏の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	<p>⑧ 防腐・防蟻処理</p> <p>◎薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 (12.3.1)</p> <table border="1"> <tr><td>適用部位</td><td>保存処理性能区分</td></tr> <tr><td>下地材</td><td>・ K 2 ○ K 3 ・ K 4</td></tr> <tr><td></td><td>・ K 2 ・ K 3 ・ K 4</td></tr> </table> <p>・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 (12.3.1)</p> <table border="1"> <tr><td>適用部位</td><td>処理の方法</td></tr> <tr><td></td><td>※ 薬剤製造所の仕様による</td></tr> <tr><td></td><td>※ 薬剤製造所の仕様による</td></tr> </table> <p>・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 (12.3.1)</p> <p>適用部位 ()</p> <p>・合板等の加圧注入による防腐・防蟻処理 (12.3.1)</p> <p>適用部位 ()</p> <p>屋根及びとい工事</p> <p>① 長尺金属板葺 (13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)</p> <table border="1"> <tr><td>施工箇所</td><td>板及びコイルの種類</td><td>塗膜の耐久性, めっき付着量等の種類及び記号</td><td>厚さ(mm)</td><td>屋根葺形式</td><td>下地</td></tr> <tr><td>屋根</td><td>※ JIS G 3322の屋根用コイル</td><td>AZ150</td><td>0.4mm</td><td>◎心木なし瓦葺 ◎立平葺(図中立ハゼ葺と明記) ・ 横葺</td><td></td></tr> </table> <p>下葺材料</p> <p>・アスファルトルーフィング940</p> <p>◎改質アスファルトルーフィング下葺材 (◎一般タイプ ・ 複層基材タイプ ・ 粘着層付タイプ)</p> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対して構造耐力上安全である工法</p> <p>横葺きの場合は納め ・ つかみ込み納め ・ けらば包み納め (13.3.2)(表13.2.1)</p> <table border="1"> <tr><td>施工箇所</td><td>形式</td><td>タイトフレーム(mm)山高 山ピッチ</td><td>耐力による区分</td><td>材料による区分</td><td>厚さ(mm)</td><td>軒先面戸板</td><td>耐火性能</td></tr> <tr><td></td><td>・ 重ね形 ・ はせ締め形 ・ かん合形</td><td></td><td>()種</td><td>※鋼板製 ・ アルミ 合金製</td><td></td><td>・ 有り ・ 無し</td><td>・ 30分 ・ 無し</td></tr> </table> <p>材料</p> <p>板及びコイルの種類 ()</p> <p>塗装の耐久性, めっき付着量等の種類及び記号 ()</p> <p>タイトフレームにJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内の場合の表面処理 ※表14.2.2のF種</p> <p>断熱材張り ・ 適用する(種別: 厚さ(mm): 防火性能: 時間)</p> <p>工法 (13.3.3)</p> <p>建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対して構造耐力上安全である工法</p> <p>折板のけらば納め ※けらば包みによる方法</p> <table border="1"> <tr><td>施工箇所</td><td>種類</td><td>大きさ</td><td>産地</td><td>役物瓦の種類</td><td>雪止め瓦の使用</td></tr> <tr><td></td><td>製法による区分</td><td>形状による区分</td><td>寸法による区分</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>種類, 大きさ, 産地, 役物瓦の種類等 ※ 図示</p> <p>瓦葺木 ※ 13.4.2(2)による</p> <p>棟補強用心材 ※ 13.4.2(3)による</p> <p>瓦葺用釘又はねじ 種類, 径, 長さ:</p> <p>棟補強等に使用する金物等 材質: ※ ステンレス製 ・ 溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製</p> <p>形状, 寸法: (13.4.3)</p> <p>留め付け方法:</p> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対して構造耐力上安全である工法</p> <p>建築基準法に基づく地震力に対応した瓦の繋ぎ方法などの工法 ・ 図示</p>	適用部位	保存処理性能区分	下地材	・ K 2 ○ K 3 ・ K 4		・ K 2 ・ K 3 ・ K 4	適用部位	処理の方法		※ 薬剤製造所の仕様による		※ 薬剤製造所の仕様による	施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性, めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	下地	屋根	※ JIS G 3322の屋根用コイル	AZ150	0.4mm	◎心木なし瓦葺 ◎立平葺(図中立ハゼ葺と明記) ・ 横葺		施工箇所	形式	タイトフレーム(mm)山高 山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能		・ 重ね形 ・ はせ締め形 ・ かん合形		()種	※鋼板製 ・ アルミ 合金製		・ 有り ・ 無し	・ 30分 ・ 無し	施工箇所	種類	大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦の使用		製法による区分	形状による区分	寸法による区分				
施工箇所	※ 図示	樹種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
寸法(mm)	※ 図示	等級	日本農林規格を使用する場合 : ・特等 ※ 1等 ・ 2等 日本農林規格以外を使用する場合 : ※ 特一等 ・ 一等																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
形状	※ 図示	含水率	※ 10%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
保存処理	・	防虫処理	・ 行う ・ 行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
防虫処理	・ 行う ・ 行わない	難燃処理	・ 行う ・ 行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		※ 図示			※ 1等 ・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		化粧薄板:		※ 図示		※ 1等 ・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		芯材:																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		化粧薄板:																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		芯材:																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	※ 図示			※ 15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			※ 図示		※ 15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		化粧薄板:																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		芯材:																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	品名	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			・有(・天然木化粧加工・塗装加工) ・ 行う ・ 図示 ・ 無(等級: ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等) ・ 行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		・有(・天然木化粧加工・塗装加工) ・ 行う ・ 図示 ・ 無(等級: ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等) ・ 行わない		※ 14%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	品名	曲げ強度(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
						※ 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所(品名)	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	※ 5.5	・ラワン ・ しな	※ 1類	広葉樹(※ 2等以上)	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			・ 2類	針葉樹(※ C-D以上)	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所(品名)	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理	強度等級																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	※ 12.0	・	※ 1類	※ 2級以上	※ C-D以上	・	※ 指定しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			・ 特類	・ 1級	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所(品名)	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			※ 1類 ・ 特類	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			※ 1類 ・ 2類	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所(品名)	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		※ 1類 ・ 2類			・																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	※ 15.0	・ 素地(研磨品) ・ 単板張り(・ 研磨品 ・ 無研磨品)	※ 13タイプ	※ MR1(M)又はMR2(P)タイプ																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所(品名)	寸法(mm)	等級																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
適用部位	保存処理性能区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
下地材	・ K 2 ○ K 3 ・ K 4																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
適用部位	処理の方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	※ 薬剤製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	※ 薬剤製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性, めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	下地																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
屋根	※ JIS G 3322の屋根用コイル	AZ150	0.4mm	◎心木なし瓦葺 ◎立平葺(図中立ハゼ葺と明記) ・ 横葺																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	形式	タイトフレーム(mm)山高 山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	・ 重ね形 ・ はせ締め形 ・ かん合形		()種	※鋼板製 ・ アルミ 合金製		・ 有り ・ 無し	・ 30分 ・ 無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	種類	大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦の使用																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	製法による区分	形状による区分	寸法による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
5 造作用単板積層材		2 折板葺																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6 合板等		3 粘土瓦葺																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
7 接着剤																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

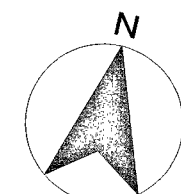


付近見取図

工事場所：高知市介良丙871番地1



配置図 S=1/100



■ 工事概要

- ・公民館（木造平家建て）の屋根改修
 1. 屋根の葺き替え
 2. 軒樋（呼び樋まで）の取替え
 3. たて樋の取替え
- ・和室天井の張替え

■ 外部仕上表（改修部分）

部材	改修前	改修後	仕様	改修前	改修後
屋根	野地板（杉板 t=15）：既存のまま アスファルトルーフィング+着色石綿セメント板葺き【撤去】	改質アスファルトルーフィング+カラーガルバリウム鋼板 t=0.4 立ハゼ葺き【新設】 軒先水切：カラーガルバリウム鋼板 t=0.4加工【新設】 ケラバ水切：カラーガルバリウム鋼板 t=0.4加工【新設】	堅 樋	呼び樋：VP75φ【撤去】（吊り金物共） 呼び樋より下：VP75φ【撤去】（摺り金物共）	呼び樋：カラーVP75φ【新設】（SUS吊り金物共） 呼び樋より下：カラーVP75φ【新設】（SUS摺り金物共）
	軒 樋	塩ビ角型W=120（吊り金物共）【撤去】		塩化ビニル製軒樋（カラー） 前高120（SUS吊り金物共）【新設】	

■ 内部仕上表（改修部分）

室名	床	巾木	壁	廻り縁	天井	天井高	備考
和室	改修前	既存のまま	既存のまま	既存のまま	木天井下地：既存のまま 杉桁天井板柄プリント合板 目透し張り【撤去】 竿縁：一時撤去	2,550	
	改修後	-	-	-	杉桁天井板柄プリント合板（目透しタイプ）【新設】 竿縁：再取付	2,550	既存照明：一時撤去再取付

高知市 都市建設部 公共建築課

係 係長 課長補佐 課長

工事名 白水公民館屋根改修工事

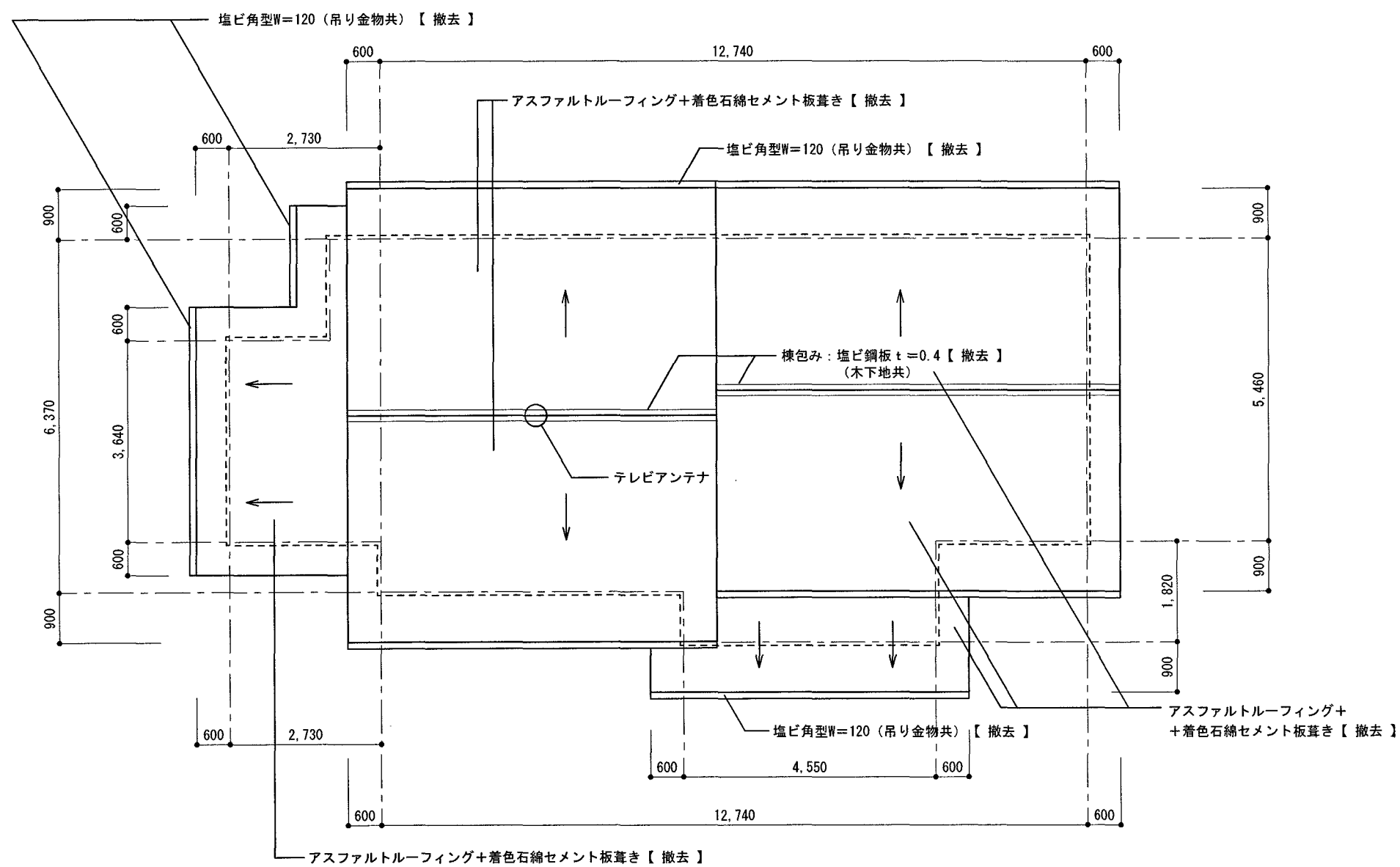
図面名 工事概要・付近見取図・配置図・仕上表

松本琢史建築設計事務所
TAKUJIMATSUMOTO Architect & Associates

NO A-06

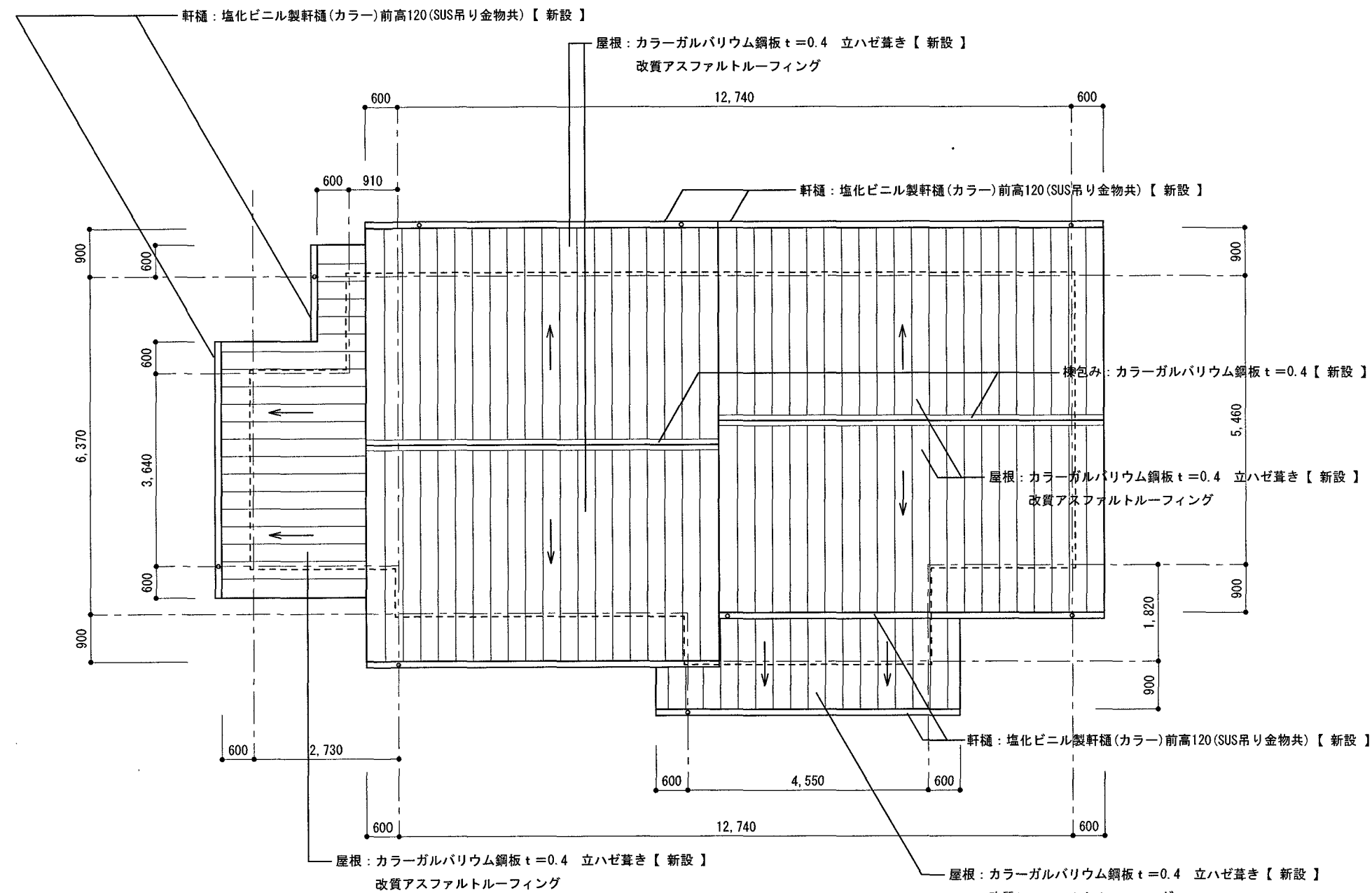
SCALE 1/100





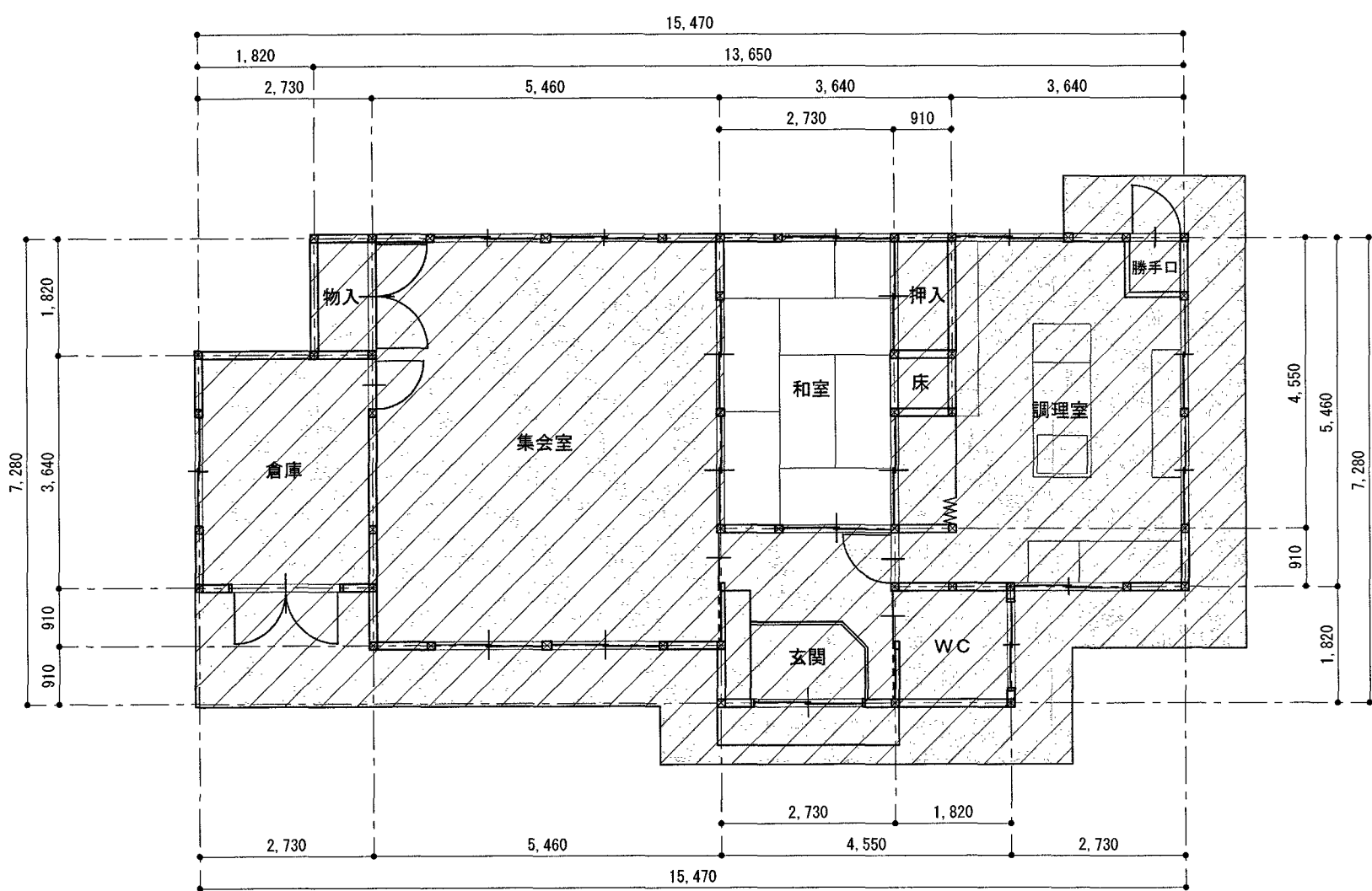
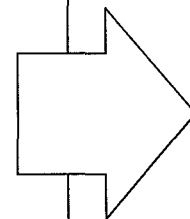
既存 屋根伏図 S=1/100

* テレビアンテナ一時撤去



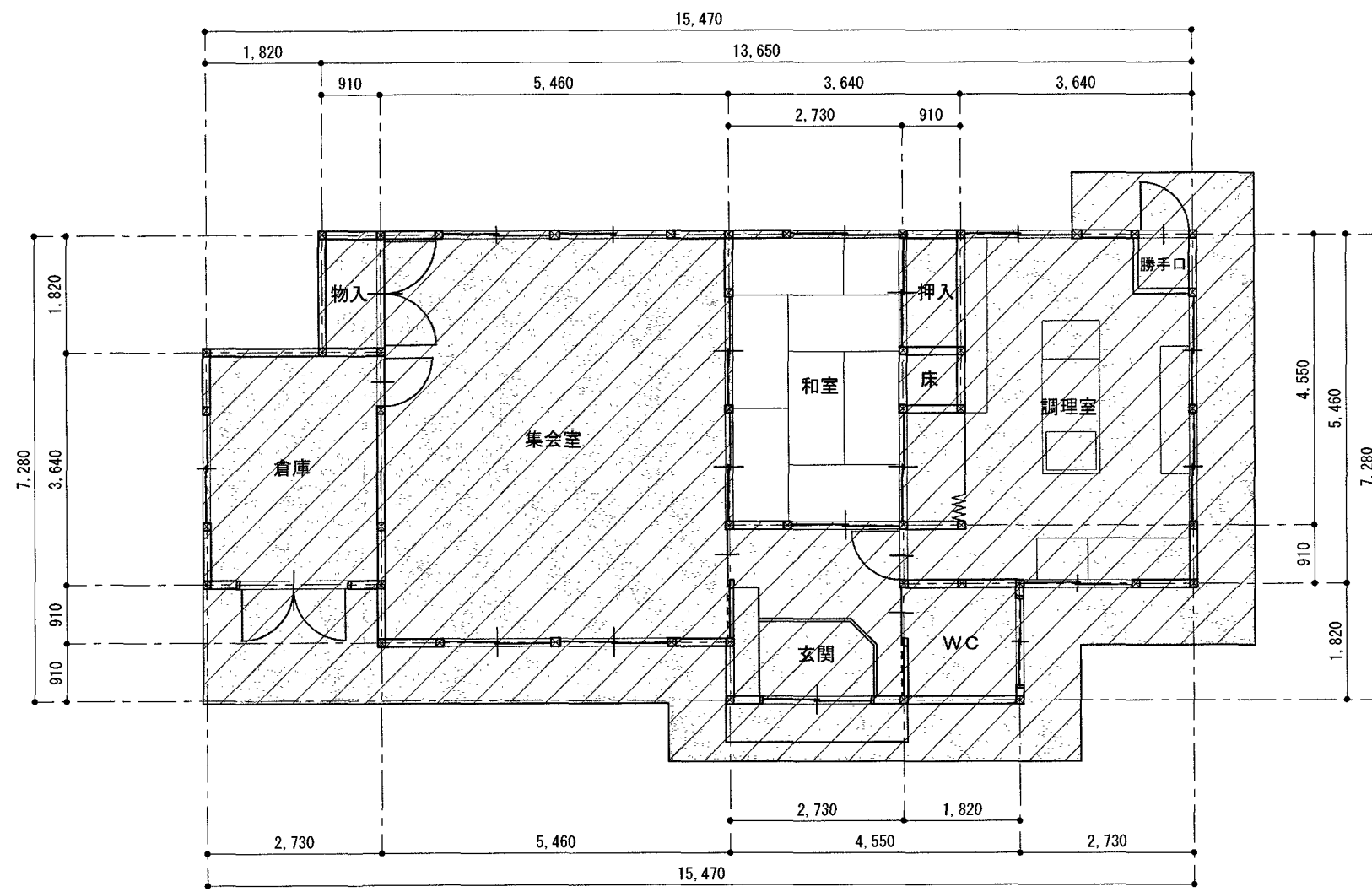
改修後 屋根伏図 S=1/100

* テレビアンテナ再取付 再取付後、受信確認のこと



既存 平面図 S=1/100

--- 工事対象外



改修後 平面図 S=1/100

--- 工事対象外

既存

改修後

高知市 都市建設部 公共建築課

係 係長 課長補佐 課長

工事名 白水公民館屋根改修工事

図面名 平面図・屋根伏図

CHECKED BY

DRAWN BY

MaTsumoto

松本 琢史 建築設計事務所
TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates

一級建築士 大臣登録第 322947号 松本 琢史

NO

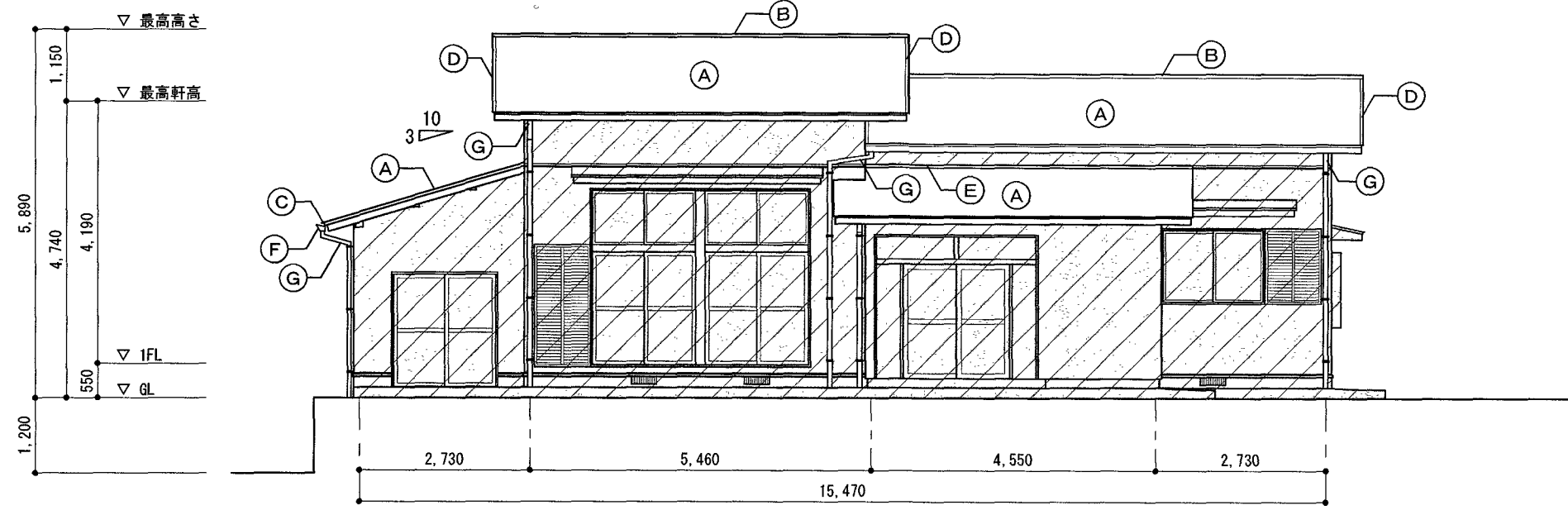
A-07

SCALE

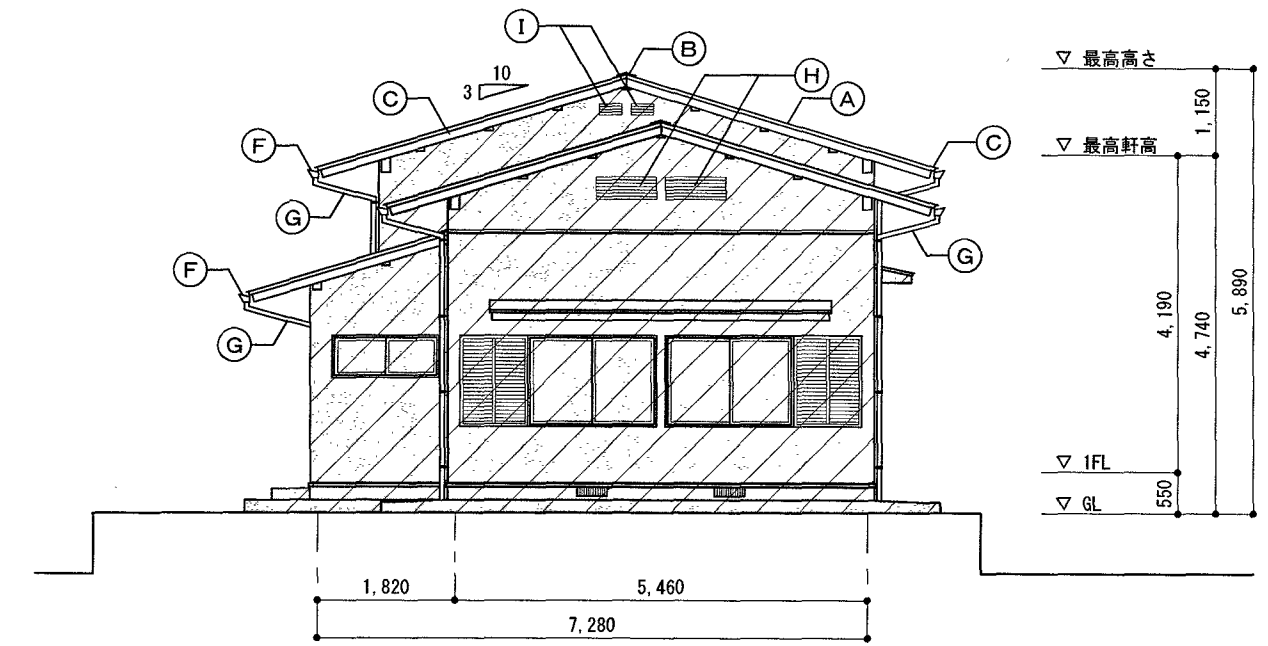
1/100

用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%

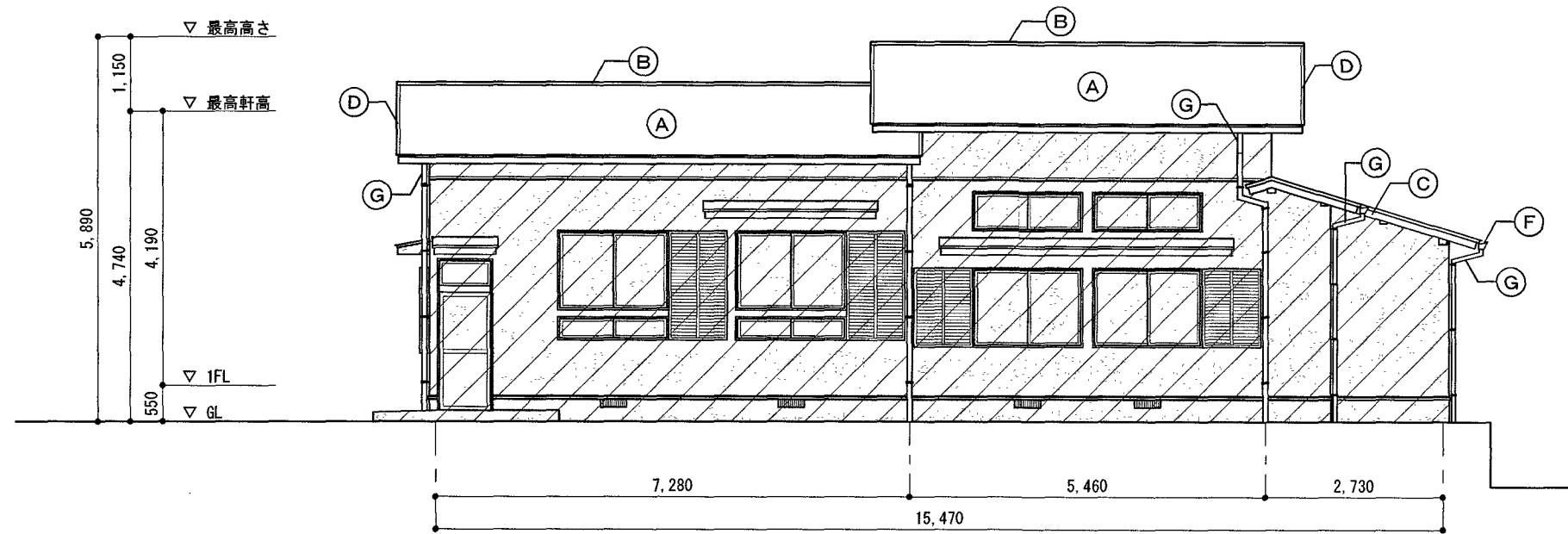




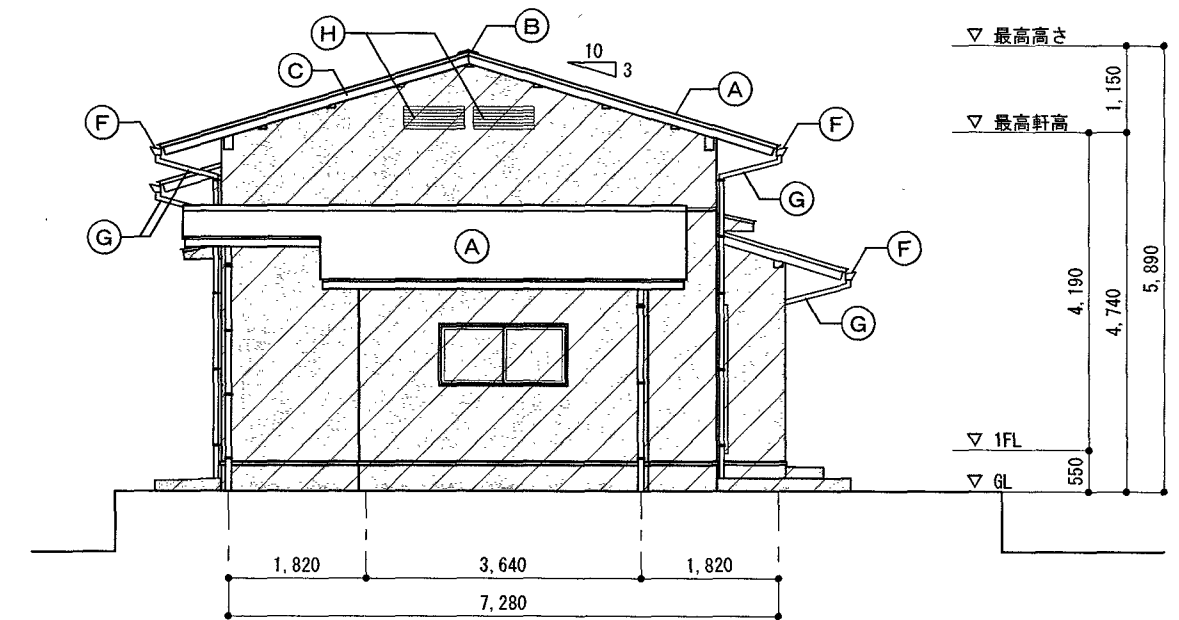
既存 南面立面図 S=1/100



既存 東面立面図 S=1/100



既存 北面立面図 S=1/100

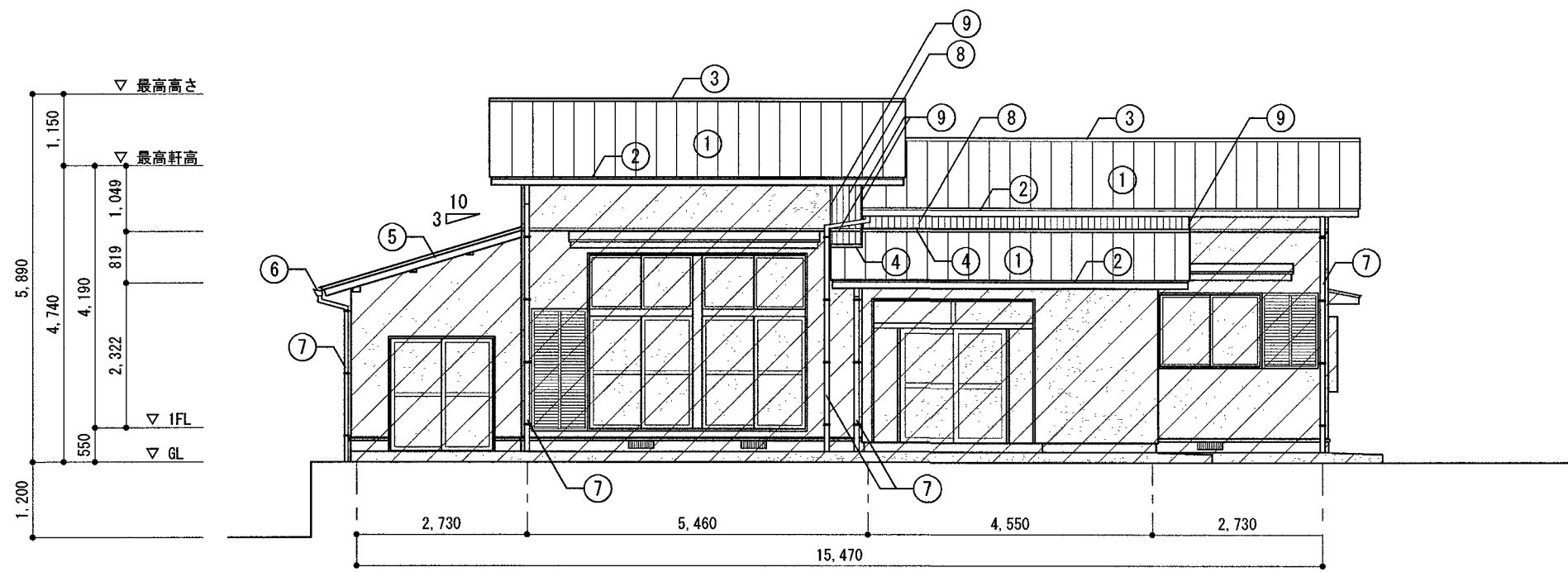


既存 西面立面図 S=1/100

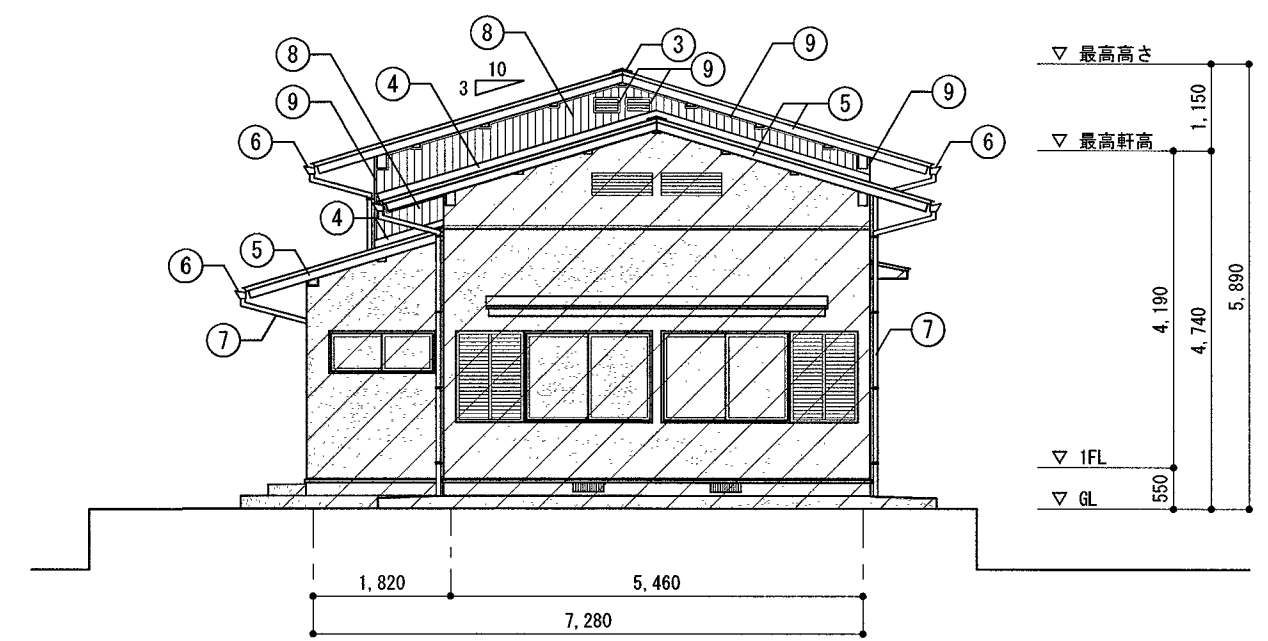
— 工事対象外

既存仕上表			
(A)	アスファルトルーフィング+着色石綿セメント板葺き【撤去】	軒 樋	(F) 塩ビ角型W=120(吊り金物共)【撤去】
(B)	棟包み:塩ビ鋼板(木下地共)【撤去】	壁 樋	(G) 呼び樋 : VP75φ【撤去】(吊り金物共)
(C)	鼻隠し・破風板:既存のまま 軒先水切:塩ビ鋼板 t=0.4【撤去】	換気口	(H) 換気口ガラリ300×800:既存のまま (I) 換気口ガラリ150×300:既存のまま
(D)	ケラバ水切材(受木共)【撤去】		
(E)	壁取合水切:既存のまま		

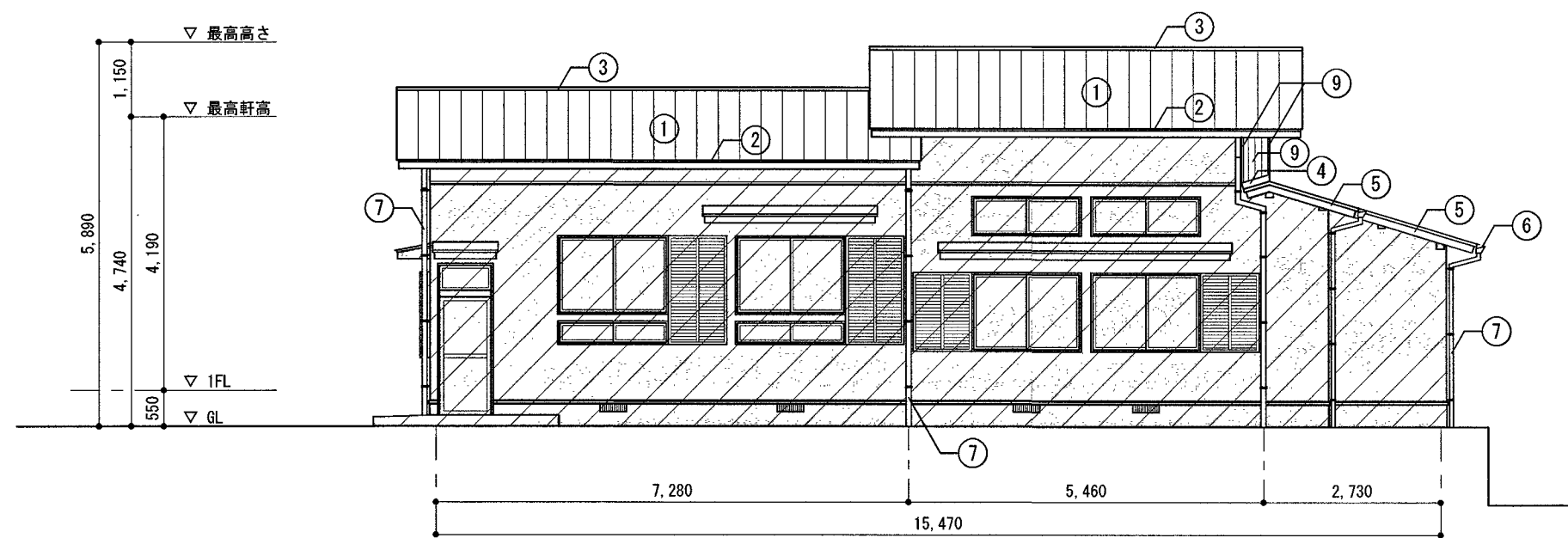
既存



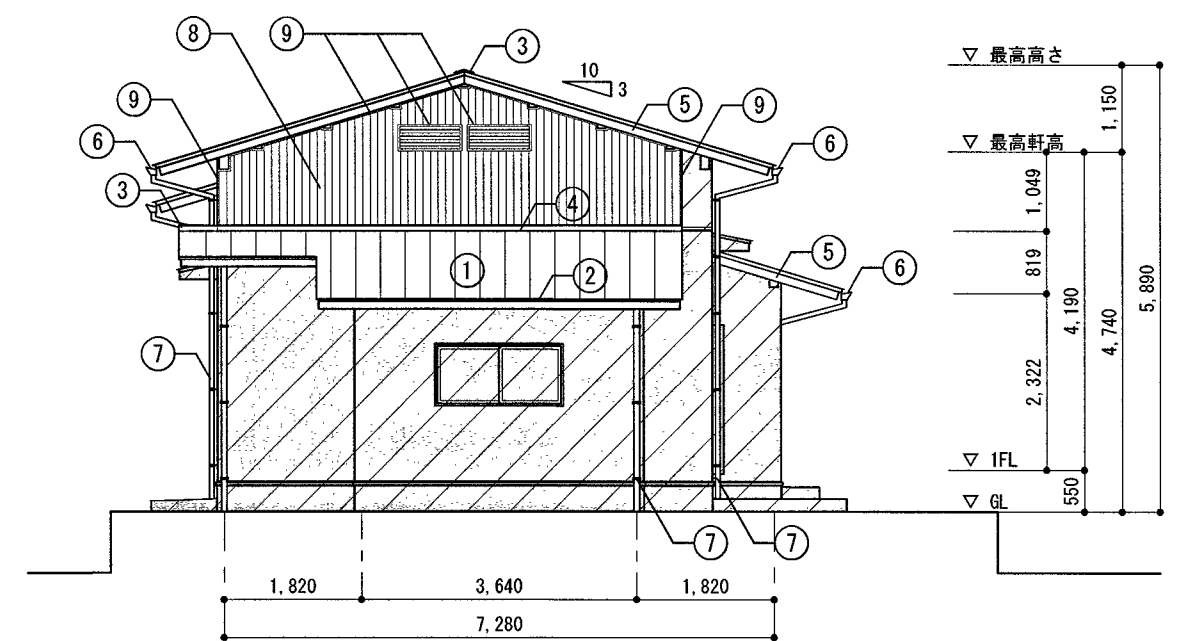
既存 南面立面図 S=1/100



既存 東面立面図 S=1/100



既存 北面立面図 S=1/100



既存 西面立面図 S=1/100

— 工事対象外

改修後仕上表

改修後仕上表		
屋根	① 改質アスファルトルーフィング +カラーガルバリウム鋼板 t=0.4 立ハゼ葺き【新設】	軒 樋 ⑥ 塩化ビニル製軒樋(カラー) 前高120 (SUS吊り金物共)【新設】 呼び樋 : カラーVP75Φ【新設】
	② 軒先水切・鼻隠し包み : カラーガルバリウム鋼板 t=0.4加工【新設】	⑦ 呼び樋より下 : カラーVP75Φ【新設】 (SUS掴み金物共)
	③ 棟包み : ガルバリウム鋼板 t=0.4加工【新設】	外張り外壁 ⑧ 胴縁(桧)18×45@455+透湿防水シート +カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 スパンドレル張り(F型)【新設】 ⑨ 外壁材取合見切 : 珪酸ガラス鋼板 t=0.4加工 既存仕上取合レシーリング 10×10共【新設】
	④ 壁取合水切 : ガルバリウム鋼板 t=0.4加工 (シーリング共)【新設】	
	⑤ ケラバ水切・破風包み : カラーガルバリウム鋼板 t=0.4加工【新設】	

改修後

高知市 都市建設部 公共建築課
係 係長 課長補佐 課長

工事名 白水公民館屋根改修工事

松本琢史建築設計事務所
TAKUJIMATSUMOTO Architect & Associates

NO A-09

図面名 改修後 立面図

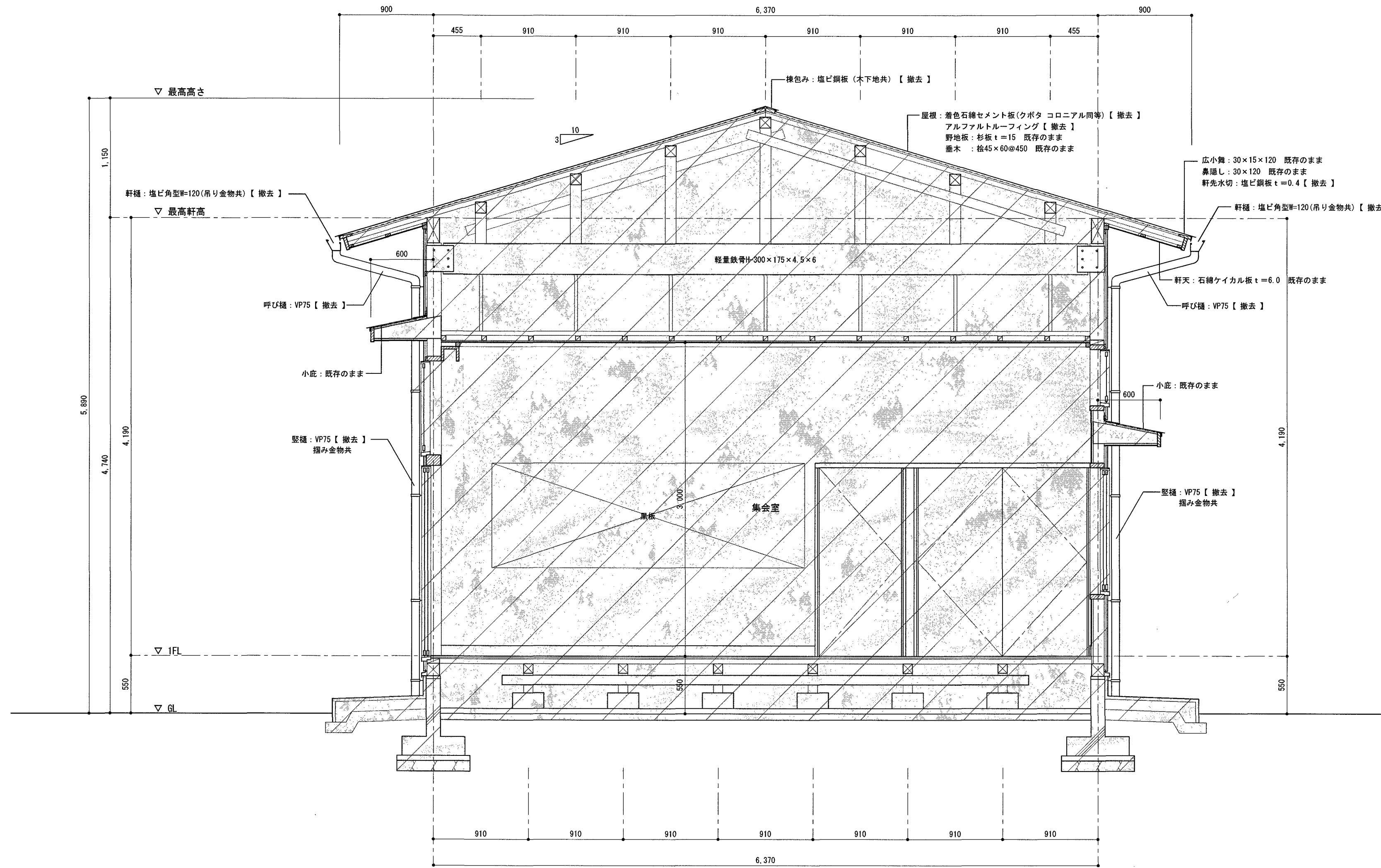
SCALE 1/100

CHECKED BY DRAWN BY Matsumoto

一級建築士 大石 豊 322947号 松本琢史

用紙サイズによる縮尺補正值 A2:100% A3:70.7%

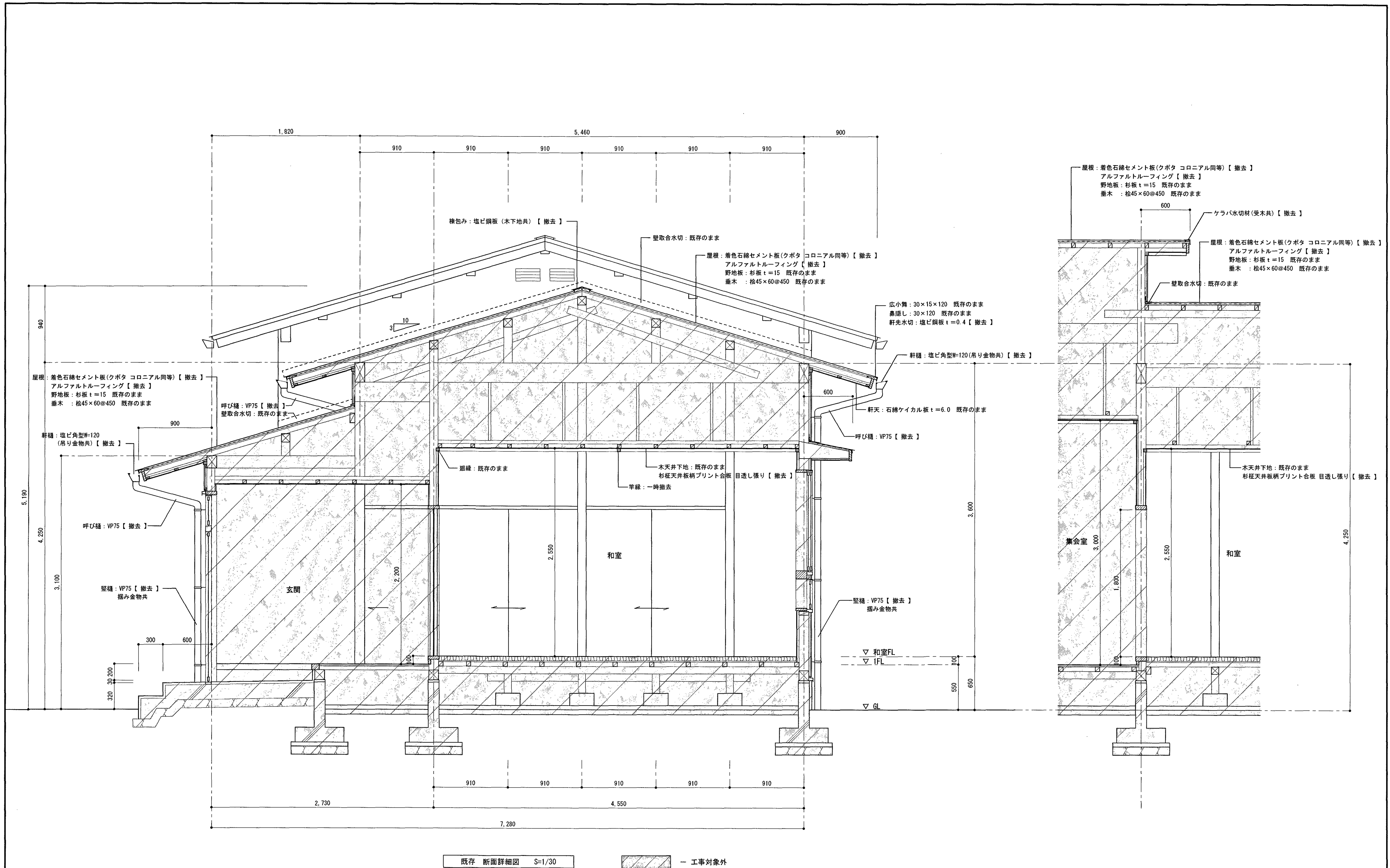




既存 断面詳細図 S=1/30 - 工事対象外

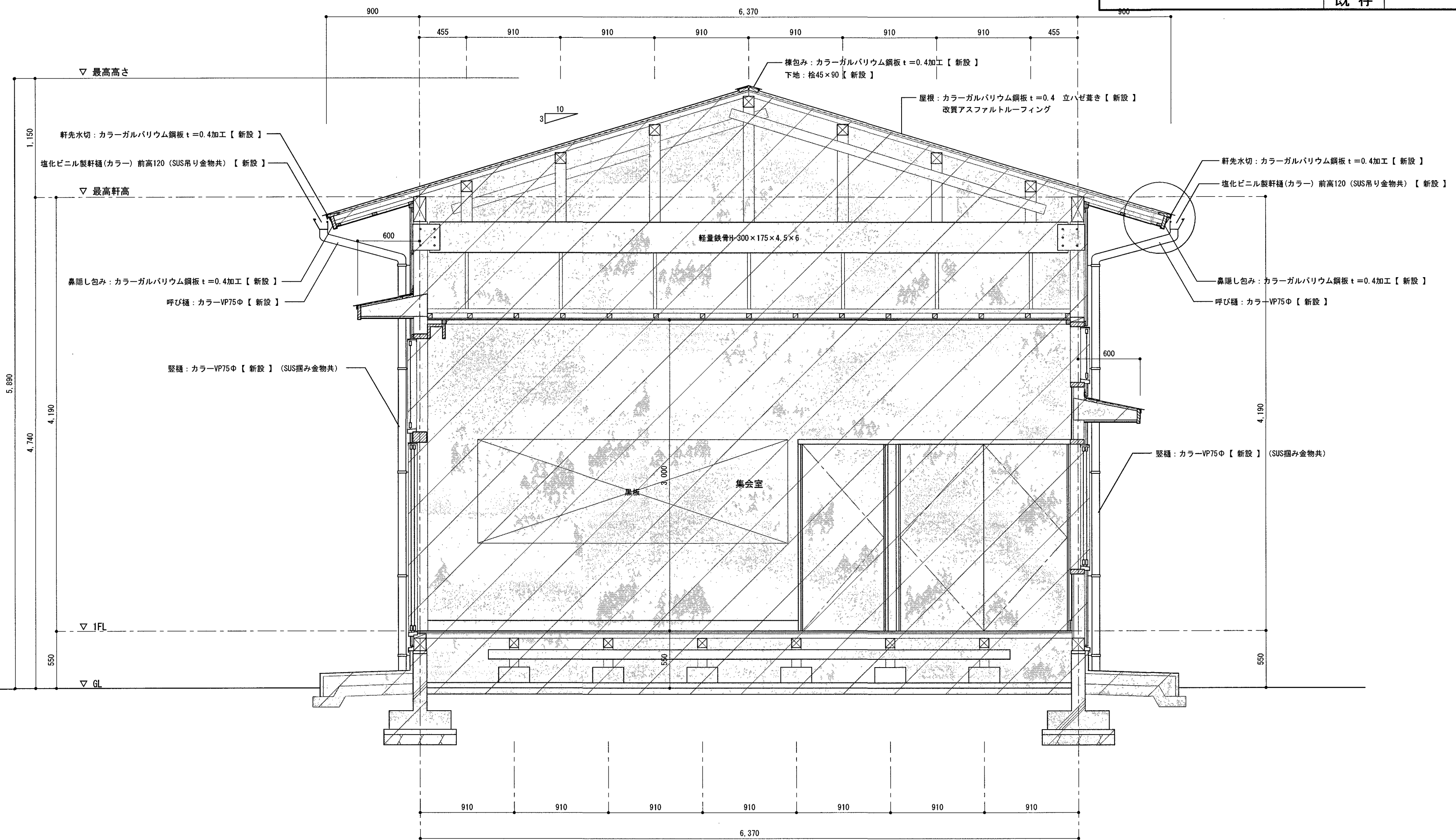
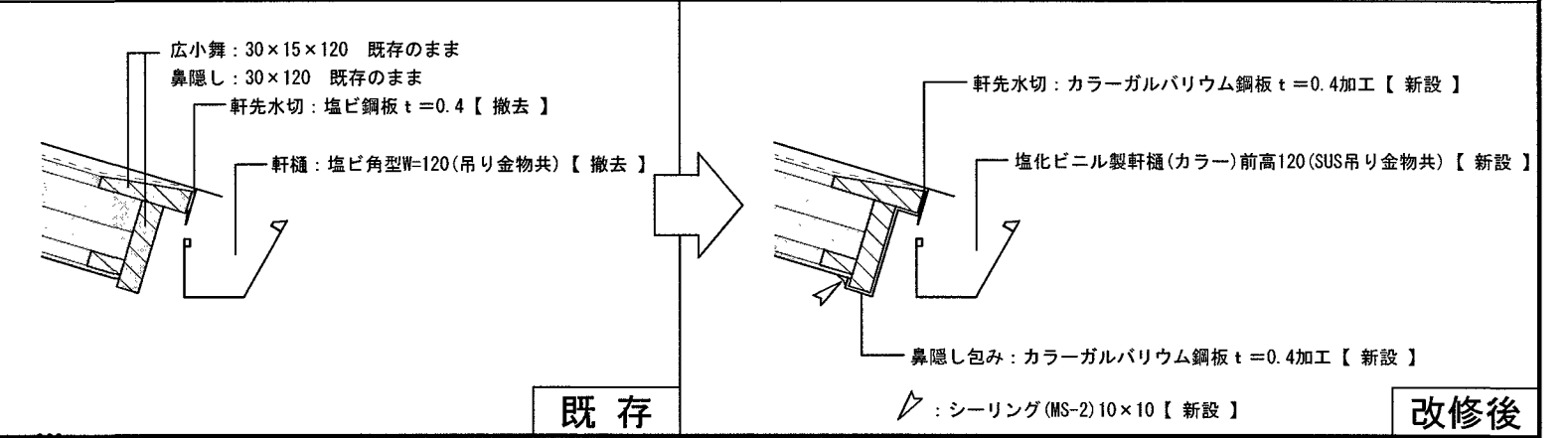
既存

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 白水公民館屋根改修工事		松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates <small>一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史</small>		NO A-10
係長	係長補佐	課長	係	図面名 既存 断面詳細図(1)				SCALE 1/30
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%				CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto		



既存

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 白水公民館屋根改修工事		松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO A-11
係	係長	課長補佐	課長	図面名 既存 断面詳細図 (2)		SCALE 1/30		
用紙サイズによる縮尺補正值 A2: 100% A3: 70.7%				CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto		
				— 登録建築士大臣登録第322947号 松本琢史				

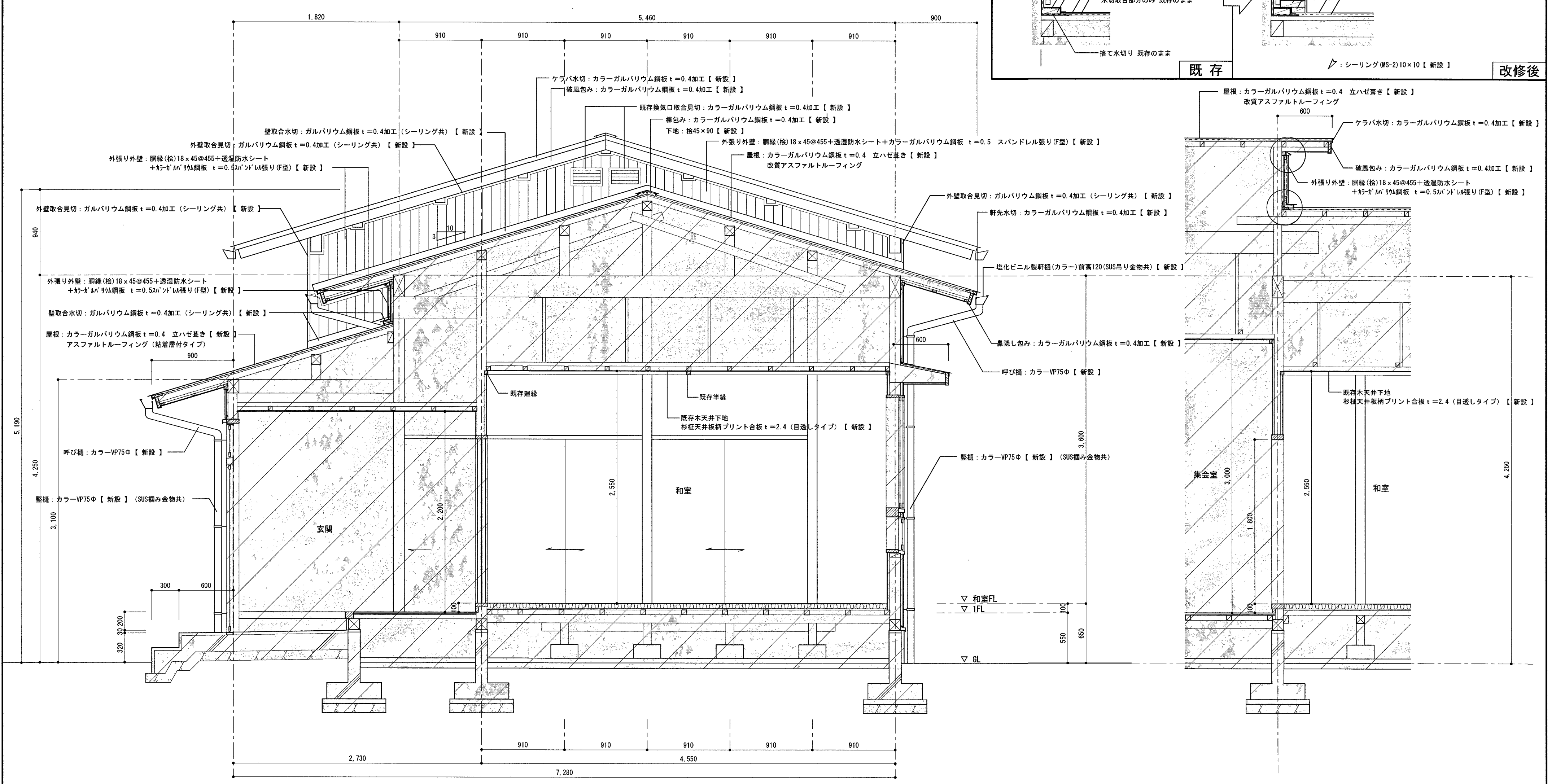
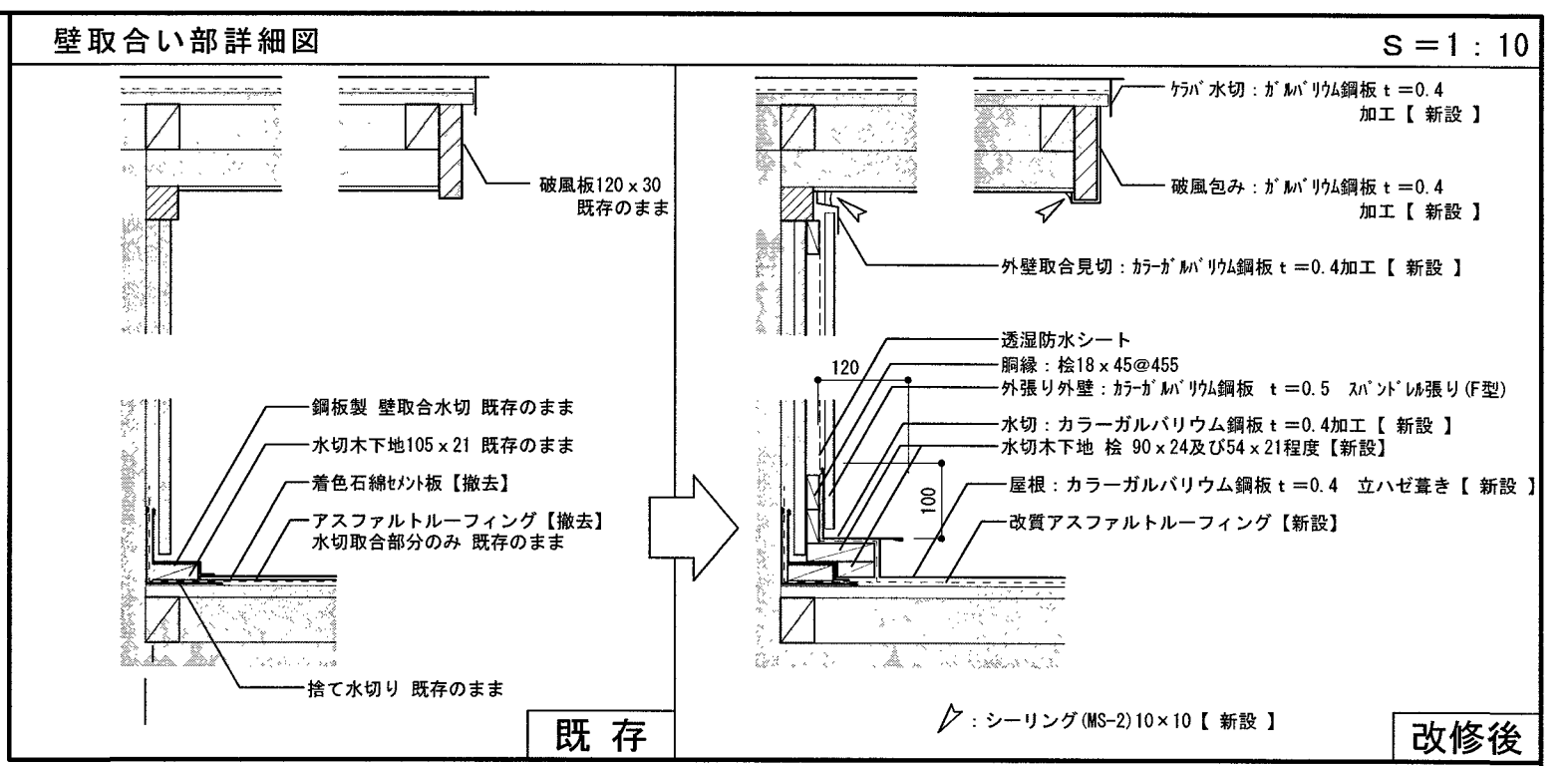


改修後 断面詳細図 S=1/30

— 工事対象外

改修後

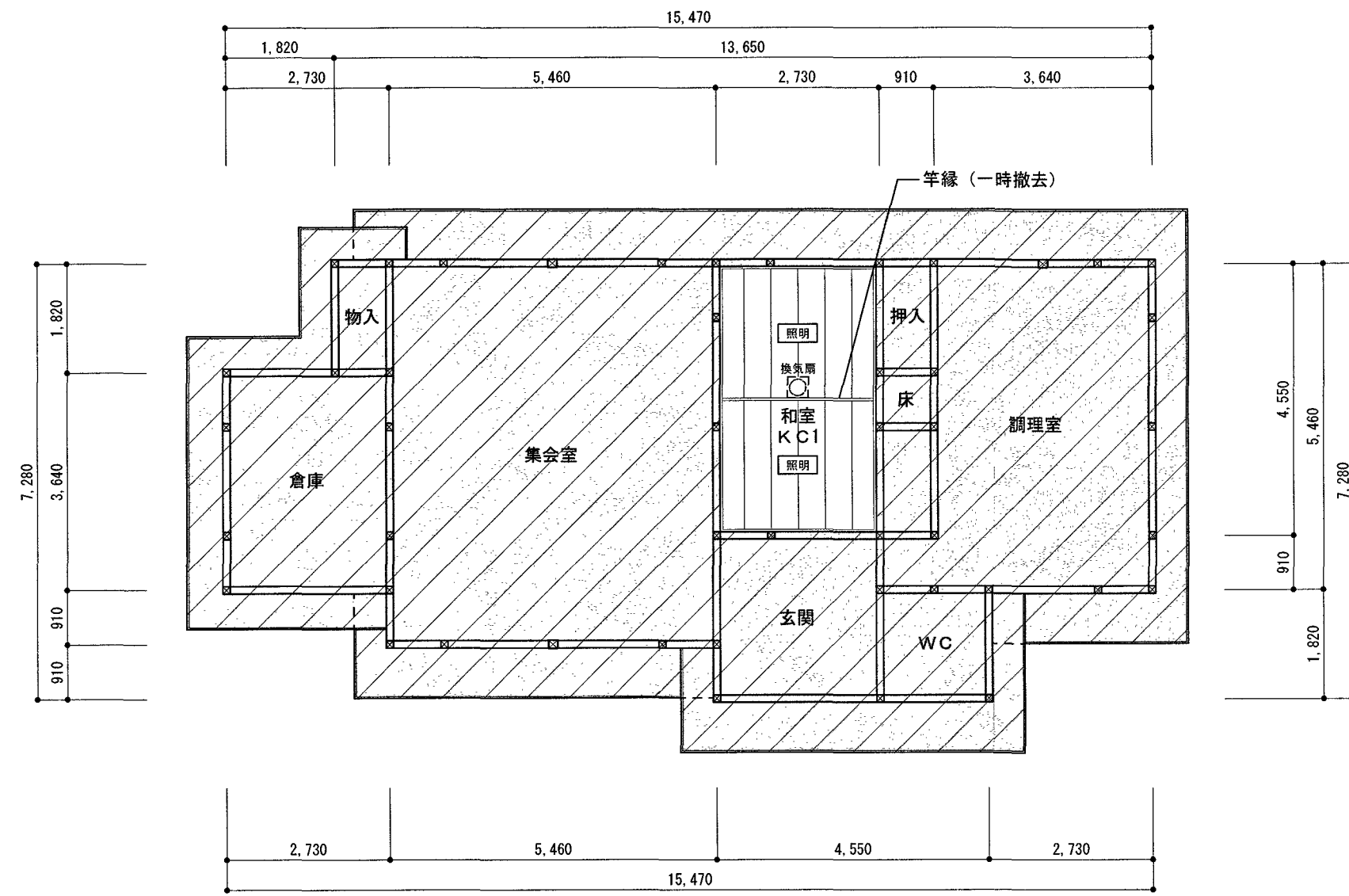
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	白水公民館屋根改修工事	NO A-12
係	係長	課長補佐	課長	図面名	改修後 断面詳細図 (1)	
				CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto
用紙サイズによる縮尺補正值 A2: 100% A3: 70.7%				一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史		



改修後 断面詳細図 S=1/30

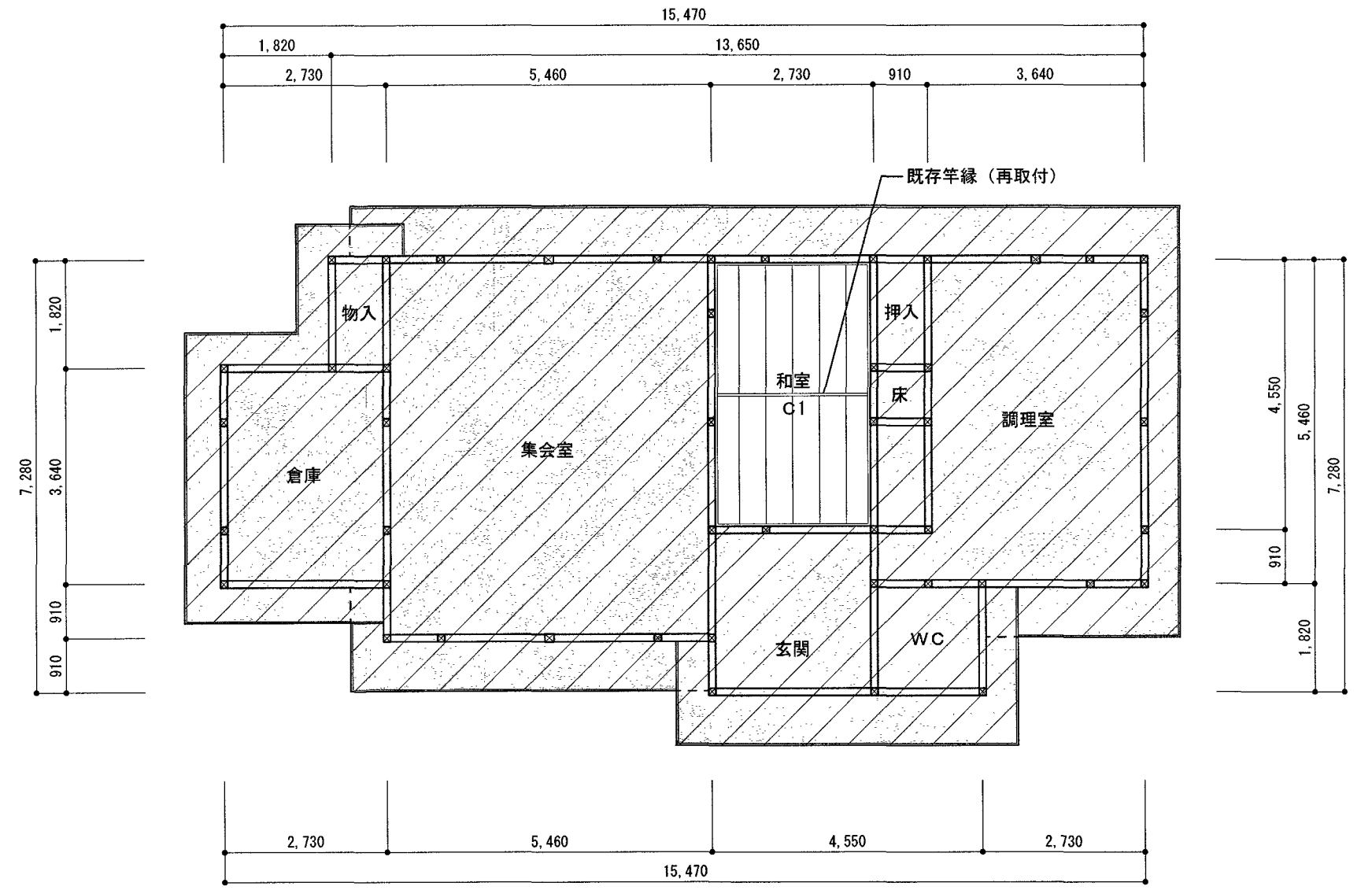
改修後

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	白水公民館屋根改修工事	NO A-13
係	係長	課長補佐	課長	図面名	改修後 断面詳細図 (2)	
				CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto
用紙サイズによる縮尺補正值 A2: 100% A3: 70.7%				一級建築士 大田 登雄 第 322947 号 松本 琢史		



既存天井伏図 S=1/100

: 既存のままを示す
 * 照明器具は、一時撤去再取付
 * 換気扇は、別途



改修後天井伏図 S=1/100

: 既存のままを示す

既存 天井仕上表

KC1	木天井下地 杉桧天井板柄プリント合板 目透し張り	木天井下地: 既存のまま
		廻縁: 既存のまま
		竿縁: 一時撤去再取付
		仕上材(杉桧天井板柄プリント合板)のみ撤去

改修後 天井仕上表

C1	既存木天井下地+杉桧天井板柄プリント合板 t=2.4 (目透しタイプ)
----	-------------------------------------

既存

改修後

高知市 都市建設部 公共建築課
係 係長 課長補佐 課長

工事名 白水公民館屋根改修工事

図面名 天井伏図

CHECKED BY

DRAWN BY

Matsumoto

松本 琢史 建築設計事務所
TAKUJIMATSUMOTO Architect & Associates

NO

A-14

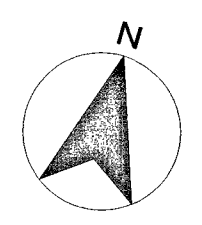
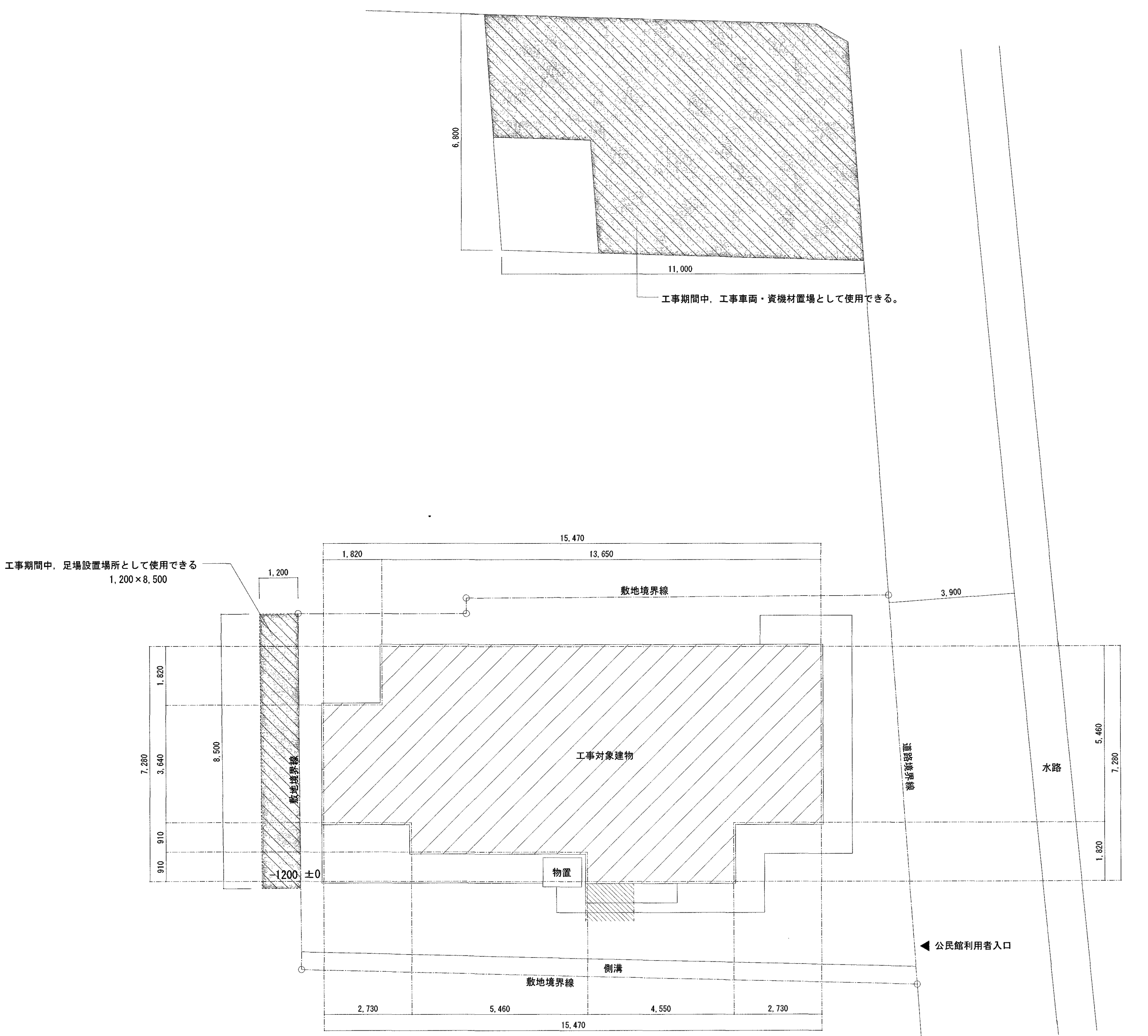
SCALE

1/100

用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%



一級建築士大臣登録第322947号 松本 琢史



- : 足場設置・資機材置場・駐車スペースとして利用できる範囲を示す。
※資機材置場として利用する場合は周囲をガードフェンス(H=1.8m程度)により養生し、第三者への安全を期すこと。
- : 公民館利用者通路のうち、安全確保の為 合板養生を行う部分を示す。
なお、この範囲は通路両側もシート張り養生を行うこと。

仮設計画図 S=1/100

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 白水公民館屋根改修工事		松本 琢史 建築設計事務所 TAKUJIMATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本 琢史	NO A-15 SCALE 1/100
係長	課長補佐	課長	図面名 仮設計画図		CHECKED BY		
用紙サイズによる縮尺補正值 A2: 100% A3: 70.7%							